第三千七百三十三號　（明治三十九年九月八日第三種郵便物認可）　THE KEIJO NIPPO　大正七年二月十一日　（年中無休刊）

京城日報

二月十日夕刊
（朝夕刊併せて八頁）

第四十回帝國議會（東京特電）

衆議院（九日）

▲本會議

午後一時十五分開議、高松正道氏（國民）議事の進行に關して發言を求め七日發院案の採決に際し我等は記名投票に依るべき動議を出し議長之を認めたるに拘はらず無記名投票に依る可否を起立に問へるは不當の處置なり且つ議長は其の起立に異議ありと云ふも備指名投票の形式を採らざりしは不法なりと詰るや大岡議長は其瞬間に於て異議を稱へざれば其効力なしと答へ直に日程に入るを宣し前川虎造氏（國民）頻りに議長々々を連呼すれども之に耳を籍さず日程の朗讀を終るや前川氏更に議事の進行に就き質問ありと叫びしも議長は既に日程に入れりと跳ね付け相手にせず

巡査、看守退隱料及び遺族扶助料中改正法律案（政府提出貴族院廻附）

後藤内相の説明ありて委員附託

大正六年勅令第二百〇二號承諾を求むる件（政府提出貴族院廻附）

勝田藏相の説明あり委員附託

所謂小額紙幣發行事後承諾案に就き

臨時國庫證券法中改正法律案

（一讀會の續き）

委員長犬養源太郎氏（國民）の報告あり其通り可決確定

貨幣法中改正法律案

委員長齋藤安雄氏（政友）の報告通り可決確定

[illegible]法中改正法律案

委員長熊田景之氏（新政）の報告通り可決確定

此の時寺崎勤氏日程變更の緊急動議を提出し異議無く左記兩案を一括附議す

鐵道敷設法中改正案

足尾鐵道及び有馬鐵道買收に關する法律案

委員長床次竹二郎氏登壇委員會の結果に就き報告あり本案は地方に於ける諸懸案なるを以て議員の意見を述べんとするもの多く先づ丸山嵯峨一郎氏（政友）登壇、上越鐵道敷設贊成意見を披陳し次で第二讀會に入るや白石直治氏（政友）四國豫定線に依れば琴平線は四國縱貫鐵道の一部にして國防上は勿論四國開發上最も大切なる線路なり即ち豫定線の目的は高知市に通ずる鐵道の速成に在るに拘らず政府は其の豫定を變じて觀音寺線を採りたるは緩急本末を失したるものと云はざる可からずとて四國線の速成を主張し委員長報告に賛成す兒玉右二氏（新政）本案は之れ各方面より研究し原案を以て適當なる計畫なりと認むと原案維持を主張し三木武吉氏（憲政）琴平線は國防上運輸上非常に便宜なるに拘らず之れを變更せんとするは裏面に政略を含めるに非ずやと修正案に贊成し討論終結となり決を起立に問ひたる結果は新政會を除く三派總て起立し委員長報告通り修正可決

朝鮮事業公債法中改正法律案

樺太事業公債法案

一括議題に供し委員長政尾藤吉氏（政友）報告通り可決確定、大岡議長の發議にて日程を追加し

軍用自動車補助法案

第一讀會續きに移り委員長金澤仁作氏（新政）報告通り可決確定、岩崎勲氏の動議にて休憩を宣す時に三時十分午後四時引續き再開岩崎勲氏（政友）日程變更の動議を出し異議無く

遠洋漁業奬勵法中改正法律案

委員長成田榮信氏（政友）報告通り可決確定、此の時前川虎造氏（國民）議事進行に關し發言を求め、七日議場に於ける議長の態度は僞[illegible]

口聖上陛下還幸

天皇陛下には十一日紀元節に就き葉山御用邸に御避寒中なる御祭典並に豐明殿御宴の爲め十日午前九時二十五分御出門陸軍禮式通常御服に大勳位菊花副章を御佩用徳川侍從次長御陪乘供奉員を從へさせられ官民奉迎中に逗子驛御著同十時御發車同十一時二十分東京驛御著東各殿下以下の奉迎を受けさせられ御機嫌麗はしく宮城に還幸あらせられたり（東京特電）

[illegible]を護けり今度斯かる事無き様[illegible]告す大岡議長御答弁は留意したる[illegible]更むべき御入念の御注意は此所に[illegible]謝し[illegible]可[illegible]て午後四時十[illegible]

▲總豫算修正案

政府は衆議院に於て豫算案の修正及び增滅税案の否決を見たる結果歳入豫算に異動を生ずるを以て[illegible]院に於て[illegible]に依り大正七年度歳出歳入總豫算同各特別會計歳入歳出總豫算追加第一號中を修正

右に依れば歳入總額七億二千一百[illegible]九十四萬一千四百六十圓を七億一千九百五十七萬六千九百七十六圓に改む

歳入經常部六億四千五百十二萬五千五百十六圓を六億四千二百五十六萬一千五百十七圓に改む

百六十四萬一千三百三十六圓を七千六百九十六圓に改む

歳入臨時部七千六百三十六萬一千四百[illegible]十六圓を七千六百九十一萬四千七百六十一圓に改む

三萬五千四百七十六圓を二千百九十四萬一千[illegible]

歳出總額七億二千百九十四萬一千四百六十圓を七億一千九百五十七萬六千九百七十六圓に改む

朝鮮總督府所管

[illegible]經常部四億八千百萬六千五百[illegible]十萬圓を四億七千八百六十[illegible]萬二千九十圓に改む

[illegible]して特別會計[illegible]

歳入經常部四千三百十一萬九千百七十[illegible]圓を四千二百六十三萬八千[illegible]

二十圓に改む（勸業及び官營[illegible]）

[illegible]收入[illegible]千六百五十四萬五千[illegible]

[illegible]十二圓を[illegible]

五百四十二圓に改む

歳入臨時部前年度繰入金[illegible]

關東都督府所管

十一萬五千七百八圓を四萬八千三百九十五圓に改む

四萬八千三百九十五圓を

臨時部合計二千四百十八萬二千五百[illegible]三千[illegible]十萬六千七百圓に改む

九十六圓を三千二百八十[illegible]三萬一千五百四十萬圓を

二百八十三圓に改む

歳入經常部三百五十一萬六千五百三十一萬四千二百

百六十一圓を三百二十萬圓に改む

六十二圓に改む（勸業及官營）

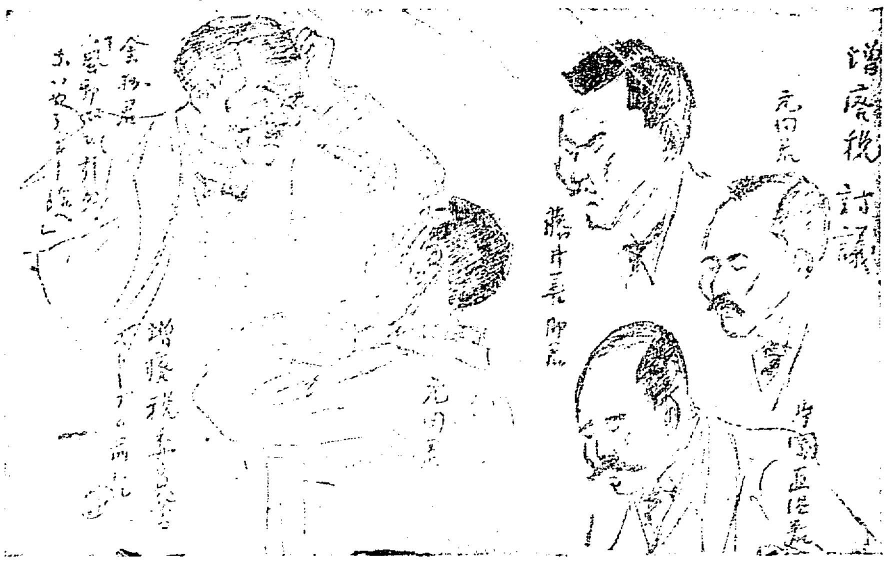
財産收入三百二十四萬二千四百十二圓を二百八十四萬九千百三十

四十二圓を二百八十四萬九千[illegible]

六圓に改む

歳入臨時部前年度繰入金百萬四千

千九十圓を百十八萬三百九十四圓



▲豫算委員總會

九日午後一時四十五分開會諸般の報告の後

一、大正七年度歳入出總豫算

一、大正七年度各特別會計歳入出

豫算

一、豫算外國庫の負擔となるべき契約に關する件

一、臨時軍事費豫算追加

一、大正七年度歳入出總豫算追加

一、豫算外國庫の負擔となるべき契約を爲すを要する件追加

[illegible]委員會[illegible]結果に就て報告あり[illegible]政會を代表して早速整爾氏

減債基金二千萬圓減額、臨時事件費四千六百萬圓削除、其の他[illegible]

[illegible]等の修正意見を述べ次で鈴木梅四郎氏

[illegible]國民黨を代表し減債基金[illegible]

圓減の修正意見を述べ結る[illegible]元田肇氏

[illegible]

圓に改む

臨時部合計三百二十一萬三千百十二圓を三百二十一萬三千六百八十八圓に改む

外務省所管

館新築費二萬八千圓削除

内務省所管

内務省所管、神社[illegible]

大藏省所管

第一、第二[illegible]

金二百萬圓削除、專賣局東京試驗所新築費二十二萬二千九百三圓

遞信省所管

十二萬圓削除

中二十萬圓削除

遞信省所管、遠洋航路補助費の外希望條件として、一、植民地の經費は濫出の傾あるを以て一、臨時教育會議の經費は必ず認むる[illegible]成るべく速かに結了せしむ

[illegible]

▲七年度の鐵道建設

主要工事は咸鏡線と京城一山間

大正七年度以降滿鐵京城管理局にて總督府の命により施工する鐵道新事業は咸鏡線並に同線の改修工事等を主たるものとなすが其の七年度に於ける工事の進捗程度其他は豫算通過後に非ざれば詳細知り難きも概ね左の如きものなるべし

▲咸鏡線北部

咸鏡線北部は會寧より輸城驛より分岐し羅南を經て鏡城を貫ぬきて南下するものなるが輸城羅南間は平坦なる輸城平野の連續に付工事殆んど困難なきも羅南鏡城間の丘陵は地勢上到底切り通しにて不可なるを以てトンネルとなすの外なき山なれば結氷の早き北鮮にて大正七年度中に輸城羅南間の鐵道連絡を實現する事は困難なるべく羅南まで[illegible]の營業を開始し羅南鏡城間のトンネル起工をなす位に留まるべし尚ほ該工事は清津建設事務所之れを管掌す

▲咸鏡線南部

咸鏡線南部の建設は元山建設事務所にて之れに當り永興を起點として成興を經て元山の海岸部を走り北上するものにて永興成興間約二十餘里は成鏡道の平坦部を走れども成興の地勢概ね平坦なるも河流多く架橋工事甚だ困難の模樣に付其の成興

▲南大門一山間

南大門一山間の新線は[illegible]地間は京義線の直通を廢し南大門より一山に直通せんとするものにて龍山より南大門に[illegible]

[illegible]既に終り工事も本年度[illegible]地所の買收は直ちに起さしめんとする[illegible]

▲鎭昌線

鎭海昌原間は多分大正七年度より工事の運びに至るべく[illegible]

韓貨處分

[illegible]

京城手形交換

一月中京城に於ける組合銀行の手形交換高は四萬五千八百七十三枚金額千三百八十六萬三千四百七十圓にして一日平均一千九百九十八枚金額六十萬二千七百五十九圓に[illegible]

鐵道倉庫成績

滿鐵京城管理局本年一月中の營業倉庫の成績は入庫高一萬五千九百噸出庫高一萬二千噸にして孰れも前年度に比し若干の增加を示し居れり

木浦米の揭減

最近木浦米の[illegible]僅々發揚し殊に其二等米の需要影しく當業者も採算上鏡追一二等玄米の製出に努力し居れるが斯く一二等米の需要增加し

○浦鹽軍港廢止

商港計畫目下役員選擧中

浦鹽斯德は軍港を廢止し商港と爲さん計畫あり目下役員選擧中なるが同港の技術局は[illegible]事に就き[illegible]（浦鹽電報）

○オムスク政府承認要求

[illegible]政府は國務總理ボタアキン氏[illegible]氏の名[illegible]

○墺國內閣總辭職

[illegible]

○鮮銀總裁決定

[illegible]

勅四等　十方　久　微

▲三島理事發期

三島鮮銀理事は大田理事來京に付十三四日頃に出發の豫定なるが其の[illegible]京は一月の豫定にて歸京は三月中旬ならん

川上理事東上

川上東拓理事は約一箇月の豫定を以て十一日午前八時四十分南大門驛發東上すべし

◎京城學校組合會

京城學校組合會にては來る十三日午後三時より組合會を開會することゝなれり

[illegible]代用として[illegible]品質優良なる爲め內地米を精白とするも內地優等米と同じく[illegible]非常に少なく僅かに四分乃至五分の減少を來すに過ぎず之を他の朝鮮各地米の八分乃至一割減に比較せば著しき相異あるを以て斯く註文續々入り込むものなりと

◎故岡專務と報勞金

京電氣株式會社に於ける今期定時株主總會に提出せられたる故岡專務に對する報勞金贈與に關する件は[illegible]重役一任に決したる[illegible]ば[illegible]重役會議を開き協議の結果故岡專務に一萬圓贈與し前例あるを以て同氏に八千圓を贈與し別に後半期慰勞金として三千圓を贈るに決し翌日本本專務は遺族を訪問し會社の意思を傳へて現金を交附したりと

◎片山氏に就て

鮮銀理事に就任する事に內定せし三井銀行外國課長片山繁雄氏に付き某有力者の談によるに氏は明治三十一年東京帝大の出身にて三島理事と同期生たり大學を出でゝ後三井銀行に入り今日に至れるが三井銀行の外

◎記者懇話會員

京城記者懇話會は既報の如く十一日擧行の筈なるが其會場、時刻及び九日迄に決定せる會員は如左

▲會場　朝鮮ホテル▲時刻　十一日午後四時▲會員　朝鮮公論、板橋、石森、角田、中村、井上▲滿洲日々 西崎、支局　山副▲藤岡、京日、淺野、宮本▲日新　濱田▲外野鮮中野社、濱▲大阪毎日　杉田▲大阪朝日　小林▲中央新報　鮮千里、李相協▲朝鮮新聞　小野、關根綾部、大西、角谷、林、守屋、伊藤▲京城日報　秋山、鄭谷、三好、別府、中島、中村、京川、山崎（源）、山崎（猛）、西村、坪井、方、志田、秦、長野（以上三十九氏）

人事消息

▲茂木濟（茂木合名會社參事）十日朝入京朝鮮ホテルへ

▲森島弼四郎氏（大邱辯護士）十日朝入京不知火へ

▲清水當吉氏（東拓秘書役）十一日朝南大門驛發東京に轉任

東京より

在京　一記者

世界思潮の大勢と我が日本帝國（一）

世界思想の二大潮流

○歐洲大戰以來國際政局の動搖と同時に吾人の等しく看過するを許さゞるものは世界思想の革命是也、戰局擴大の結果國際の動搖を促し國際動搖の結果として思想の革命を促がすに至りたる乎、將た戰局擴大の結果思想の革命を促し思想革命の結果として國際の動搖を促がすに至りたる乎、其の如何は姑く置き戰局擴大、國際の動搖、同時に世界に於ける思想界の大轉換一大革命の道程に在るは掩ふ可からざる事實也

○世界思想の大勢は極化論なくと雖も約して之を云へば一方は民主々義にして他の一方は軍國主義也、詳しく民主々義と云ふも決して一様におらず、自由主義と云ひ民族主義と云ひ皆是れ民主々義と其の潮流を同うする者に屬す、等しく軍國主義と云ふも亦た決して一様にあらず。武斷主義と云ひ、帝國主義と云ひ、皆是れ軍國主義と其潮流を同うするものに屬す。

世界政策を云ひ、帝國主義と云ひ世界政策と云ひ、苟も其潮流を同うする者に屬す。若し夫れ若し夫れ名目に拘泥して、其實質を忘るゝが如きあらば、將に所謂毫釐の差千里の誤を生ずるに至らん。豈深く戒めざる可けむ哉。

○獨逸が歐洲大戰の戎首として世界平和の攪亂者たるは、十目の視る所、十指の指す所、世界各國の齊しく認むる所たるに拘らず、獨逸は今次の大戰を以て防禦戰と稱し國家存立の爲に戰ふものなりと稱して、頑として己れの非を認めずんば世界の大勢を知らざる者も甚だしと云ふべし。而も獨逸の地形と國民性と其の國際關係とよりすれば、恐らくは現今よりも更に獨逸一國の爲めに世界政策を執らざるを得ざるは必至の勢にして軍國主義の實現と爲り獨逸の軍國主義と相衝突し終に國際世界政策發展の結果巴爾幹の戰爭を惹起し、之れ獨逸の戰爭と爲りて英國の應戰と爲り、而して律國、米國の參戰、我日本の參戰と爲りたるを疑ふ能はざる也。然らば則ち今次の大戰に於て純乎たる軍國主義を代表するものは獨逸にして民主々義を代表するものは英、佛、米の聯合諸國也と謂はざる可からず。此の如く觀察し來れば歐洲の大戰は單に是れ民主々義と軍國主義との衝突なりと稱するも殆んど不可なきに似たり。然れども更に一歩を進めて論ずれば未だ必ずしも其眞相を得たるものと謂ふ可らず

十一月一日現行

□宮中紀元節祝典

天皇陛下御告文を奏させ給ふ

紀元節當日は午前八時半御殿の装飾を奉仕し同九時式部官著床次で各皇族方並に大勳位親任官以下勅任待遇著床奏樂中に御開扉獻饌、次で九條掌典長恭しく祝詞を奉奏するや天皇陛下には賢所内陣の御鈴の儀中に御韓衣御袍立纓にて出御御拜禮御告文を奏させ給ひ次で皇后陛下御代拜あり引き續き各皇族方を始め奉り參列諸員の拜禮あり再び奏樂中に御閉扉撤饌各退下したる次に午後三時迄待從男爵以下判任待遇の拜禮ある筈（東京特電）

□豐明殿の饗宴

各皇族方以下一千名を召さる

紀元節當日の正午天皇陛下には陸軍儀式御正装にて宮中豐明殿に出御各皇族方を始め奉り各國大公使大勳位親任官以下勅任待遇約一千名を御召しの上饗宴を賜ひ且つ内外臣僚に對し優渥なる勅語を賜ふ首相、英國大使内外臣僚を代表し奉答辭を奉り午後六時より伯子男爵以下に酒饌を賜ふ筈（東京特電）

獻上畫 近く完成せん

全國文官から東宮に奉るべき

立太子式奉祝の意を以て、全國高等文官から東宮殿下に獻上する筈の日本繪三幅三十六枚の歴史畫、及び帝國領土の勝景を描く西洋畫五枚は昨年六月各畫伯が其下繪を文部省に選び、重臣、關野等の各建築［illegible］された位であつた、其後追々進捗して現在では［illegible］巨勢金岡賞聖障子をそがくといふ上卷の

第二の描 の分が出來すれば宜い事になつた後の三十五枚は既に悉く揃つて愈々裝も出來する筈である、又繪に添附する解説も西洋畫の分は總て出來して居る、願くば吉川靈華氏のを一日も早く欲しい次第である、裝裝金具等は美術學校の正木校長に依頼してあるので小堀氏が主任となつて急いで居る總て

歴史家の 批評を受け七月中に完成し一枚毎に能書家をして、繪の解題を添附する事となつて居たのであるが、種々の事情で遲延し今日尚ほ完成しないのである、右に就いて田所次官は語る、何樣今度の獻上品は

前代未聞 のものといつてもよいもので、下繪の批評の出た時分には、樣々の議論が出たつた時分には、樣々の議論が出た或は家の反りが足りないとか、柱が曲つて居るとか、又は人物が不足だとか多過ぎるとかいふので、歴史物に精しい小堀鞆音氏さへ困らせ込みであつたが今月末までには全部出來上る見るまで實に美事なものだと聞いて居る、孰れ全部出來の上は或は宮内省の旨を聞き、以て世間に公にする機會があらうと思はれる（東京）

豫定よりは 隨分遲れた

●獨逸婦人の露都入り

働きにかけては拔け目が無い

露都からの最近の情報に依ると獨逸の婦人が五十人百人と隊伍を組んで盛んに露都ペトログラードに這入り込んで目覺ましい商業上の活動をして居ると云ふことであるが戰爭が勃發して

露獨の間に 交通が杜絶して居つたのが最近露獨兩國が平和條約を締結してからと云ふものは無節制な露國兵は荒寥たる戰線から故郷戀しさに歸つて來た、歸つては來たが

糧食の缺乏 してゐる時であるから待ち構へてゐた獨逸人は時こそ到れと食糧品の販賣に行かうとしたけれど目下の獨逸では壯年者は戰線に出切つて了つて殘つて居るのは

老幼の男女 ばかり、さてこそ獨逸婦人の露都入りとなつたのである。這は働きに掛けては拔かりのない獨逸婦人である、外人の驚目するところであると云ふ露西亞の如きは此れを佛蘭西及び伊太利婦人に活動は獨逸婦人に越すものはないと云はれて居る

貴族以外の 上流家庭でも主婦は御用聞から日本家庭のやうに日用品を取寄せはしないで主婦自ら市場に買出しに行く、其の敏捷な活動と規律正しいことゝは獨逸今日の頑強を造り出したものと思はれる

此等の婦人 の露都入はペトログラードの一部の人達からは嫌忌されて居ると云ふ事である

●内地各新聞を起訴す

露國貨幣事件

露國貨幣「留」僞造者として大阪朝日新聞及び東京其の他の新聞に記載されたる大阪市北區曾根崎上四丁目貿易商尾崎虎之助氏は右記事に依り社會の誤解を招きたるを憤慨し一月二十七日以降各地に於て該記事を掲載せる新聞社を起訴しつゝ八日午前來釜し仝釜大方面に赴く筈なりと云ひ居たるが已に起訴せられたる新聞社は▲大阪朝日▲神戸新聞▲ツナ［illegible］▲東京朝日▲報知新聞▲九州新聞▲福岡日々▲東京新報▲大阪日々▲國民新聞▲萬朝報▲秋田［illegible］▲中國民報▲長崎プレス等にして之が代理人として店員幸用淳作を出延せしむべしと語れり（釜山）

●露西亞の新曆施行

新曆二月十三日以後より實施

露西亞は文明國と同一の曆法に則る爲め新曆を施行する法令を發布したり此の命令は舊曆一月の終了即ち新曆に就き十三日以後より實施さるる故に舊曆三十一日の翌日は二月十四日となる譯なり（露都特電）

●大金の拐帶

［illegible］山生れ鈴川みや（二九）と共に乘船し馬山方面へ逃れんとする處を釜山［illegible］

●官印僞造

［illegible］日午前七時迄參集すべしと全北全北郡助村［illegible］彫刻せしめ自己所有の登記申請書に用紙を使用し客年六月十五日同里［illegible］沈某外に［illegible］方を依頼し［illegible］入港新羅丸に陸二一二名客一［illegible］

●生徒九十名に退學を命ず

京都府立醫學專門學校同盟休業事件にて同校生徒九十名退學を命ぜらる（京都電報）

●京都市會議長召喚さる

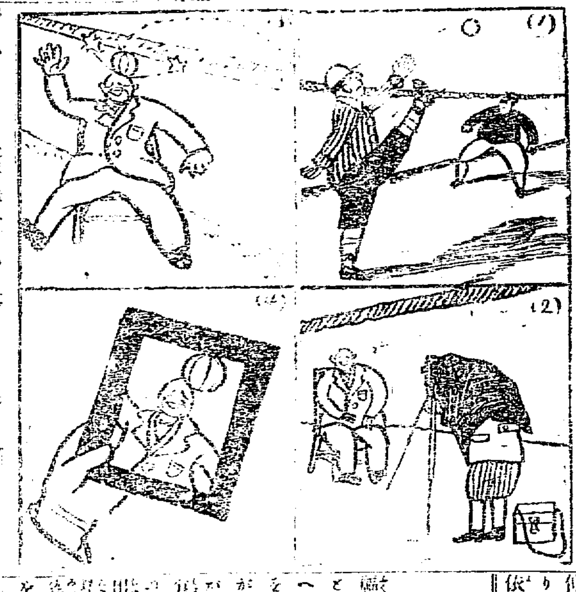
京都議員瀆職に關し三浦市會議長九日京都地方裁判所へ召喚さる（京都電報）

●官金千九百圓の持逃げ

釜山で捕はる

原籍北海道北見國斜里郡斜里村字濱中［illegible］（二七）及び同上草野清（二三）は共謀の上同地斜里郵便局臨時事務員高橋仙之助（二三）を教唆し一月十七日官文書を僞造し官金千九百五十圓を拐帶三名共に逃亡し一月下旬釜山へ來たり東萊溫泉に潛伏し居たるを探知し嚴重警戒中の處氣仙と草野は鐵路大連方面に逃走し半澤は去る二日連絡船にて内地へ逃走せんとする處を驛前岡本旅館にて逮捕したるが半澤は現金四百九十五圓五十三錢を所持し居たり、釜山署にては大連へ向け手配を報じたる結果去る四日外二名も民政署の手に依つて逮捕されたる旨通知ありたり（釜山）

□毎週ポンチ ―凸坊の寫眞―



凸坊君はお父さんに買つていたゞいた寫眞機を持て日曜日毎に［illegible］出ては景色を寫したり或る時はお家で妹の美江ちやんやポチを寫したりして此の頃では大變に上手になりました、そこでお父さんの言ふには「凸坊や今日は大變お天氣も良いしそれに日曜日だからお父さんの顏を一枚撮て下さい」凸坊「よろしい畏まり［illegible］寫して上げましよう」と早速［illegible］

●帆船難破

去る三日全南法聖浦［illegible］に向け出帆せる安［illegible］田藤太所有帆船は［illegible］傳玄栄八十以其他船員［illegible］せる所午前八時頃法聖浦口［illegible］揚りたる時波浪高まり［illegible］ふ儘にならず遂に難破し積荷全部を流失し乘組員安田藤太船頭以下人各一名は無事なるを得たるも損害額は全部にて六千五百圓を下らず中難破原因は全く積荷過重にありたるものゝ如し

●日毎、春らしい氣分に

十日朝は零下七度＝寒さの終幕

九日の晩から急に暖くなつたが［illegible］候所員は左の如く語る［illegible］北支那北部に現はれたる［illegible］

西鮮沖合 に副低氣壓（七六八粍）が現はれて此の兩個の低氣壓が朝鮮半島を挾さみて進行しつゝあると共に北支那方面に現はれたる七百六十一粍前後の大陸的低氣壓が日本海方面に進行したるものだから各地とも風力強く且つ所によつて微雨を報じたが尤も

南鮮方面 及び京城は比較的風が弱かつたのであつた、斯

高氣壓か 滿洲方面に擴張したために各地とも著しく寒くなつて西の風が吹いて晴れたから十日朝は快晴に復して溫度も低くなつて十日

午前六時 國境中江鎭の如きは攝氏零下二十二度（華氏零下七度六）を報じ最も溫かな釜山でさへ攝氏一度（華氏三十度八）を報じ京城の溫度は攝氏零下七度四分に下つた、而して

此の先き 溫度が猶ほ下降するか否やといふに是れ以上の寒氣は先づ絶對に無からう、といふのは此の高氣壓の主部が意外に

早く衰頽 せんとする樣であるから今春の寒氣は先づ此處で止まりであらうと思はれる。

●天罰は覿面

密漁中爆死す

慶尚南道釜山府［illegible］大島村福崎馬吉（三七）と云ふ者去る五日午後釜山警察署へ出頭し屍體を積み込みたる漁船を一人にて漕ぎ來たる旨屆出でたるが其の顚末を聞くに二月一日同市東部組問屋渡邊作五郎方に傭客中一人の漁夫來りて屋人へ相談あり船主直ちに加德方面へ出漁したるに四日午後三時頃加德島の沖合に於て魚群に向てダイナマイトを投げんとする際爆發して即死したれば馬吉は驚きて死骸を積み來り屆出でたる旨申立てたれば係官に於て種々取調べたるも本人は全く爆發藥に就ては關係なき模樣なるも死者の所持し居たる水產組合證票には愛媛縣西宇和郡三木村坂本良平（四）とありたる由尚ほ引續き取調中（釜山）

●醜業婦一掃されん

今年限り斷然稼業停止せしむ

南北滿洲は勿論西伯利亞迄も手を伸し到る處我國家の體面を汚し來りたる我醜業婦を一掃する方針により外務省の訓令に依り下級外國人を相手に醜業を營む者は今年限り斷然其の稼業を停止せしむる事となり當總領事館も其の旨發令したり（哈爾賓電報）

●四人組

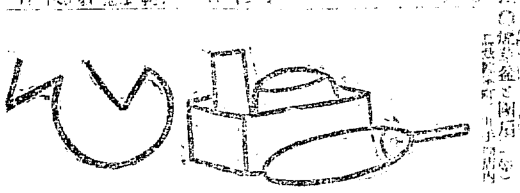
全南［illegible］郡［illegible］月里徐相信（三）金相洙（三）李一琿（三）河東生れ尹起燦（四）の外李太淑及び仙岩寺僧侶義鳳仁共謀の七人は昨年十二月十三日頃拳銃二挺を携へて光陽郡多鴨面高台里金琪斗方へ侵入し金四十圓を十二月廿二日寶城郡［illegible］大時里影緒方へ侵入し金二百四十圓を同二十三日求禮郡良文面譯坪里韓道植方へ侵入し五十圓を強奪したる後判明し徐、金、李、尹の四名は逮捕されたり其他は逃走せしを以て目下捜查中なりと

●強盗

全南［illegible］面［illegible］郡［illegible］山面［illegible］里居住勞働夫吉田政（三）は家宅侵入、横領、竊盗、前科三犯あり村［illegible］者と共謀し江［illegible］郡［illegible］果方に強盗に押入り數十圓の品物を奪ひ［illegible］行商を裝ひ居たるを［illegible］積巾［illegible］を途路［illegible］職署の刑事採知して［illegible］逮捕したりと

●強盗を撲殺す

九日夜全南光陽郡鳳岡面某里權某方へ二人組の強盜押入り主人權某を捉へて脅迫中家人は表へ飛出し夜警團に急報せしより血氣の面々得物を執つて押寄せたるより強盜は大いに驚き隙を見て逃げんとするを主人の權は俄かに勢を得て手の松丸太を取るより早く強盜を毆り付け滅多打に打ちて遂に毆り殺し一人は漸く隙を見て逃げ失せたるが急報に接して求禮分遣所よ［illegible］

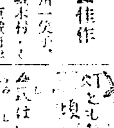


讀者文藝（一月中に到着せる分を掲載す）

○雅 め 忍　［illegible］
宮崎義雄

▲佳作
晉州　一笑子、京城　木村［illegible］、京城　［illegible］、京城　［illegible］、京城　［illegible］、外男、［illegible］

［illegible］課題



［illegible］氏はいつも痩せた人を見る度に君は食物が喰で過ぎるなどゝ嘆息してお得意の朝食廢止をすゝめたものであつた▲それからきた一斑の日本人は不服い［illegible］を當て［illegible］をかけ［illegible］たがる［illegible］を補して家庭［illegible］にまで羊の毛皮のチヤンチヤンを着せたものであつた▲また住宅に對しても既々の工風家で冬は［illegible］ストーブ裝置を［illegible］をやり夏はまた窓から障子を取つて蚊帳も吊らずに濟まし込んだものであつた▲殊に［illegible］足の安定を保たしむる計畫で必ず靴を穿かしめ且つ脚部の冷へぬやう女學生袴を工夫した人であつた▲それに來客がある〻非常の丸燒きにバタをつけて出したもので其の日常生活の改良意見は頗る熱心な値するものが多かつた▲殊に女中を備ふ代りに臺所を思ひ切つて便利にするといふ說も道理あるまであつた▲氏はかくして節約し得た金を人知れず慈善事業に使つてゐたが其の人今や亡し……

羽毛類各種
高價買入
鶴鴨子特價買入
鷺鶏尾に申上候
鶴雉は御一報次第
御便宜御相談に
應じ可申候
東京市下谷區上車坂町
神田商店
電話 下谷 一八［illegible］
振替 東京 ［illegible］

◎質 大塚質店
京城明治町二丁目
電話一八四九
◎迅速、懇切
◎多額の融通
［illegible］

※ 驚くべき能く効くこの薬 ※

［illegible］

勸業債券 貯蓄債券
高價即金買入
相場表は申越次第進呈
釜山草梁第二區
岩井商店
電話 ［illegible］

寫眞 専賣特許内外實用新案
［illegible］熱日收壹圓
特約店募集
説明見本要 郵券八錢
大阪北區［illegible］
二葉商會本店

軍隊毛布
先般來本社がロシア軍隊防寒用毛布の約束違を提供せし非常に好評にて御注文全部に應じ兼候に付更に五千組提供し茶鼠大判二枚つき（無地）一組原糸値段なる二圓九十五錢で御注文に應ず至急ハガキで申込あれ受付順に引換郵便で發送す普通の店では到底五圓以下で買へぬ品也
東京織物仲織店

汽機汽罐賣却廣告
汽機 一百二十馬力 壹基
獨逸製汽機 三十馬力 壹基
吸入瓦斯發動機 二十馬力 壹基
船來汽罐 徑三尺 長十二尺 壹基
船來汽罐 徑四尺 長十五尺 壹基
［illegible］汽罐 壹基
右［illegible］希望の方は特別の御相談に應じ可申候也
朝鮮釜山［illegible］
合資會社 岩田留楠商店
電話五五二番

鑛山用麻袋
特別勉勵可仕候
御注文願上候
門司市外大里
合資會社 石川商店出張所

大島紬
本場の確かな品の賣買
山形屋呉服店
國產部
お手紙にて御注文下され候はゞ早速適當品を相選び代金引替小包郵便にて御屆け申上ぐべく候
鹿兒島市金生町（振替口座福岡八三一番）

小鳥捕用
カスミ網
高さ六尺 横巾三間 二尺二柵
高さ六尺 横巾五間 二尺二柵
［illegible］
（極上絹糸製）〇其他雁鴨兎網無双網等種々あり
京城永樂町二丁目
吉備商會
電話［illegible］
振替京城［illegible］

謹告
一月中當店賣買出來高
七拾九萬九千八百石（第一位）
年頭多大の御愛顧に依り破格の光榮に浴し候段深謝の外無之候
大阪堂島米穀取引所仲買人
曾我一郎商店
電話北長二三四八番 二二九番 二三五〇番 二三六六番
自宅電話西ノ宮一八二番

人事百般 周旋業
京城府明治町武丁目
萬年社
電話長一八四四番

營業品目
肥料部
蒸製骨粉、魚肥、過燐酸、配合肥料、細工用地質、細工用諸種各種膠皮膠原料
石鹸部
化粧用石鹸、工業用、家庭用石鹸、浮石鹸、粉末石鹸、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹等
京城東大門外新設町
朝鮮肥料製造所
電話二六三五番
京城岡崎町一四番地
朝日石鹸製造所
電話二五九〇 電話二七六〇 振替口座京城三〇四番

通學の諸嬢の
優しき御手御顏の荒れを防ぐべく學者の創製せる美顏ユーマーあり

□課題及び募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名を明記の事▲一［illegible］

天氣　晴れ
（十一日午後六時迄）
（十二日午前［illegible］）

[illegible]の金千二百圓を拐帶逃走し各所を徘徊し居たるが七日朝京城驛にて[illegible]

組合教會共同會に於ては十一日午前七時より北漢山登攀を試むる由希望者は孝子洞山本牧師宅へ[illegible]

[illegible]山に潛みて全州郡守の印一個を僞造し尙ほ官吏金鐵寶の印一個を僞造し尙ほ他鮮人に託して所陽面花心里朴玄奎の印鑒を[illegible]草浦面下里金道三の印等を[illegible]

▲龍池面龍湖水里鄭植相より金五百圓を詐取せんとして發覺し捕はる

●奉省土地商租に就て
▲問題の顛末と奉省支那官憲▼

目下奉天に於ては邦人と支那人間の土地商租問題といふのがやかましくなつて來た、これは近來滿洲の支那人間に於て土地を擔保に日本人から金を借り入れやうとする者が續出し日本人側もまたこれに應じて融通をしようとしたので支那官憲が神經過敏に

▲百方妨害を始めたことが原因である、現下滿洲に於ては支那側の銀行は資金逼迫低利擔方の不動產を抵當に資金を融通する程の餘力がない、其處へもつて來て近來日本に溜滯せる澤山の資金が滔々として滿洲へ流れ込み各種の事業が起る資金も融通すると云ふので勢ひ支那人と邦人間の商租及び土地擔保の契約が頻發した次第である、元來滿洲に於ける

▲土地は畑として 及び大豆等の特產物が優れよい場所になると小作にして年一割位の利廻りになる所もあるので邦人側にも此の方面に注目する者が多く支那人の方でもまた金融の上から之れ等の希望者が尠くない、然るに支那官憲に於ては此の傾向を見て

▲疑心暗鬼を生じ 遂には支那人が外國人から土地を借りるのは如き感違ひを爲したる上奉天省長張作霖氏は本年一月一日から嚴重に商租及び土地擔保の借款を取締ることゝなつた、而もその取締りたる例の支那流の亂暴を極めたるもので苟も外國人と如上の關係ある者は寸毫も假借せずして獄に投ずる始末、且つまた財政部中省內各縣に發したる非公式の訓令によれば苟も借款の場合は國土盜賣及び

▲外債私借の罪に 問ふといふのであつた、されば一部の日本人側には這は容易ならざる事件である、邦人が南滿洲に於て土地の商租權を有する事は僅かに日支條約に規定するところなるにも拘らず斯る條約を無視したとは國際上の重大問題であると絶叫し既に奉天赤塚總領事よりも一月十七日附を以て張省長に對し嚴重なる抗議を提出することゝなつた、然るに張省長は早速全省各知事に對し疑の訓令を取消し

▲日本人との商租 は條約に規定せる處決して許さずといふ稍れたし唯だ支那人中たまたま不逞の徒があつて他人の土地または地券の證據を以て外國人を欺く者あるによりて取締りたるまでであつた、然るに其の後の形勢は益々亂暴なる取締りが猛烈となり如上の件に關し日本人と關係ある者は悉くこれを

▲捕へて獄に下し 或は馬賊の嫌疑ありとも或は宗社黨に與せりと云ひあらゆる壓迫を加へて居るかゝる事實は邦人の手に動かすべからざる證據を握られたるものゝみにても數件を下らずこれに依つて觀れば支那官憲は表面に日支條約を認むるが如きも裏面に於ては盛んに不當なる手段を選くしてゐる、されば奉天に於ける邦人土地關係者もこれを默忍し難しとなし總領事館に於ても目下嚴重に其交涉中であるが併しながら最近の形勢では奉天を中心とせる

▲滿洲各都鄙に於ては全く排日的傾向顯著なるものあり鐵道沿線を距る數十里の奧地に於てすら商租禁止の訓令は公然所々の寺廟等に貼付され中には日本人を毆打せる者に對し賞與する程の有樣にて事態遲かに輕視し難き有樣なり目下邦人の土地

▲商租は一大難關 に遭遇せるものゝ如く觀測せらる、張奉天省長が表面日支條約を尊重すと稱しつゝ暗に排日の擧動多きは日本官民の頗る遺憾とするところなるも同省の土地商租問題の如きも北京政府の方針も亦暗に奉天省の亂暴なる取締を助長せるかの風說あり現にさる一月二十八日付を以て各省長に對し人民の私に土地或は建物等を擔保として外人より借財するを嚴重に取締るべしと訓令せるが如き這回の奉天省に生じたる事件に關連せるものなりと觀測さる

◈イルクーツクの慘狀
×彌次馬が山から機關銃の雨を
×獨逸捕虜が銃を借りて警備す

昨年十二月の暴動後に於けるイルクーツクの情況は殆んど傳へられざりしが、世の多くの報道が實狀以上なるに反し、イルクーツクは實に報道以上なりとは同地を踏れる見者の語る所なり。近く長春に歸れる滿鐵長春驛助役楠瀨氏の旅行談に曰く、自分が

×浦鹽を通つて ウスリイ鐵道アムール鐵道を經てクエンガよりイルクーツク迄行きしは去月中旬なりしが當時の新聞紙の報ずる極東の露人經營の諸地或は哈爾賓、或は浦鹽或はウスリイ線列車內等は孰れも聞きし程の混亂狀態を見ざりしため暴動ありしとは云へイルクーツク市も案外平穩なるべしと察しつゝ同市に入りて見れば、此は思ふに勝る慘狀なりき。驛を下りてアンガラ河を渡りて市街に出づれば

○一戶としてガラス戶の滿足なる家はなく 或は二階全部を破壞せられたるもの、或は一屋悉く爆發し終へたるものが目拔の街の兩側に立並べる光景は暴動當夜の如何に悲慘なりしかを想見するに足れり。是は過激派一味が同市々民をしてアンガラ河を越わしめぬうち即ち市民中過激派の命令に服せざる者に武器を與ふるの餘裕を作らせざるための

×威嚇として 行はれし砲擊にして一方の丘上に數臺の大砲を据ゑつけ午前中より砲擊を開始して終日砲聲息まず、夜に入りては同市士官學校生徒中の彌次馬が機關銃を持ち出して又山上より彈雨を降らしたるため實に現狀の如き慘澹たる廢市の姿となり果てたりと云ふ。其の

○破壞されたる建築物中最も甚だしく到底居住に堪へざる迄破壞されたるは帝國銀行、總督官邸、露亞銀行、フタログ商店（有名なる大デパートメントストア）等にして外に寺院官衙等大建築物と目ざゝるゝは必ず砲口を向けられたり。此の暴動に就きては種々說あるも、獨逸捕虜の助力は一方の重大なる原動力たり。之が信ずるに足るべき風說なることは現時同市には

×獨逸捕虜 が横行せるを以て容易に想像し得らるべく、而して彼等獨逸捕虜の中には、露兵より銃を借りて交代にて停車場前の警備に就き居るものさへあるは驚くの外なし。斯くしてイルクーツク市の現狀は、全く

○主權の所在不明にして各人の生命財產を毀損せらるゝも訴ふるに苑なき有樣なれば、同市の有力階級の人士二三の語る所を聞けば、等しく目下の情態を救濟して再び秩序あるイルクーツクを創むるには日本の力を借るの捷徑なるべきを信じ居れり、と。因みに、同市在住の邦人は三百名程なり。（長春）

●滿洲材と造船
▲鴨江材と北滿材

滿洲戰亂の餘波支那及び滿洲の木材市場に及ぼせる影響は近來新加の輸入皆無に歸して著しく木材市場の好況を來たし從來其販路を山東に求めたるが如き觀あり之が爲め滿洲に於ける木材は販路擴張の如き難中顯著なるものゝのみ限られたるかの觀あり鴨綠江材は販路擴張の如き顯著なる一例にして滿洲材の日本輸入の如きは更に一層奇異なる現象と見得べし大正六年一月より同十一月に至る十一箇月間日本內地より大連に輸入されたる日本木材は

一月	九七八	二月	五六〇
三月	一二六三	四月	五二八五
五月	三三一三	六月	五五一七
七月	一一七七	八月	二五六
九月	一〇四四	十月	七五九
十一月	九七一		

合計二萬九千二百二十噸にして之れを前年に比し自然增加を示しつゝあるに拘らず反對に日本へ向け輸出したる木材又少からず即ち十一箇月の月別表を示せば

一月	一五四	二月	六一四
三月	一一一	四月	四八六
五月	二九五	六月	一二一
七月	一八一	八月	一七六
九月	四九五	十月	二七六
十一月			

合計三千二百四十五噸を數へ居れりこれ從來母國に於て唯一の造船材料たりしアメリカ松の輸入杜絕に依る反響にして滿洲木材中鴨綠江材は久しく筏として水中にありため其强靱性に於て到底アメリカ松に及ばざるも北滿材に到りては造船材料として稍アメリカ松に匹敵すべく此に於て母國造船業者がアメリカ松代用品として北滿材料を使用しつゝあるに依るものにして此の傾向は今後北滿材料販路擴張の上に多大の期待を存すべきは勿論延いては滿洲に於ける木材界の好影響を齎すべく期待されざるにあらざるも現在の北滿材數量は到底日本內地に於ける多多なる需用に應ずべく餘りに品薄にして今後倘ほ多くの注文に應じ得べきや否や頗る疑はしきものありと

●大豆作付及收穫
▲比前年一萬三千餘石增

平安南道各府郡の大正六年に於ける大豆優良品種の作付反別は

平壤	二千七百二十八町
谷越	三百三十九町九反
北海道	二百八十二町一反
合計	三千三百四十八町

にして之れを前年即ち大正五年に對比すれば一千四百三十一町二反の增加を示せり更に其收穫高を見るに

平壤	一萬三百三十七石
谷越	二千二百四十一石
北海道	三千三百五十六石
合計	一萬五千九百三十四石

にして前年に對比すれば一萬三千百九十四石の增收なりしが斯く優良種作付反別の著大なる增加を示せるは其原因一にして足らざるべきも亦當局が熱心に勸獎し種子の配付交換等の結果として遺憾なく行届きたるにあるべく作付反別の增消に伴ひ天候の順調其他の關係は和牽いて收穫高の好成績を得たるを知るべし

●鮮人學齡兒千餘
收容力約三百五十名

昨年春以來、年齡の戶口が異常の激增を示せる結果として來る三月三十一日迄に滿六才となり就學の始期に達すべき內地人（男女）は約三百名を算すべく併も入學期間際には每年の事例に徵しても調査漏れ或は調査後の來住者等の關係より假然二三十名の增加を見るは珍しからざれば本年も是等の學齡兒童を五十名と假定せば總數約三百五十名に上るべしとは既に報道したる處なるが內地人側に於ける學齡兒童三百五十名と云ふ空前の數を出すと共に鮮人側も亦此の趨勢を趁ひ來る三月末日迄に滿八歲に達すべき學齡兒童（男女）は約千名を算すべき見込にて之れ又空前の事實に屬するが第一、第二の普通學校は目下何れも二十五學級を編成し居り來年度も來る四月よりは各學校共一學級を增設すべき計畫なれど假令一學級を增設するも約千名の收容力には校舍狹隘にして到底不可能の問題にして先づ三校を通じ三百五十名位の收容が關の山なるべければ殘餘の六百五十名は公立普通教育に浴するを得ず已むなく私立學校若くは書堂に向つて走らざるを得ざる事となるが這は鮮人側國民教育の爲に太甚しき遺憾とさるべからず普通學校增加說即ち今一校を新設して四校とすべきは一兩年前より一部人士間に於ける懸案なれど今日は勿論大正七年度に於ても解決を見る能はざる狀勢にあるが之れも經費問題に關係すれば又餘儀なき次第なれど鮮人側國民教育機關設備の點より見れば今後永く放任し能はざるべし

●氷上運動會中止

來る十日を以て花々しく擧行の筈なりし鴨綠江氷上滿鮮大運動會は本年に入りてより氣候極めて溫暖なる爲め氷の硬度例年に比し大に軟弱となり目下の狀態にては當日の運動競技には差支へなしとするも一般見物人の危險を慮りては難きものあれば五日夜民團役所樓上に役員會を開催し殘念ながら本年は中止する事と決定せるが其代り來四月上旬を期し滿鮮陸上大運動會を開催する事となれり

●連絡船上陸客 九日午前

[illegible]松本菊松、大庭謙太郎、中西三郎、高橋[illegible]、[illegible]、大野木久吉、高木庄兵衞、[illegible]、正幹、三輪剛、張源民、[illegible]、吉田義夫、[illegible]、久國吉、李孫[illegible]、大谷順之助、中山つる、秀昌、正治、酒井評治、竹內施治[illegible]一郎、同おてる、三浦[illegible]一、同すわの、伊井健七、高木萬壽太、平松宛三、中井[illegible]、瓜生利三、岩崎行高、大野作太郎（外三百二十九名）

●兼二浦戶口

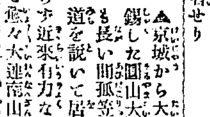
黃州警察署の一月末調査にかゝる兼二浦の戶數は內地人六百七十七戶人口男一千三百十一人同女一千十人計二千三百二十一人朝鮮人戶數二千七百四十六戶人口男六千二百三十一人同女六千四十九人計一萬二千二百八十人支那人戶數四十一戶人口男四百六十八人同女十二人計四百八十人にして總人口一萬五千八十一人[illegible]四十四人の增加を示せり

●兼二浦の屠畜數

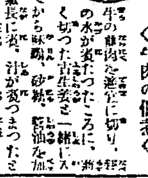
兼二浦に於ける一月中の屠畜數は生牛四十五頭、豚六十九頭なるが近時兼二浦の人口增加に伴ひ獸肉の需要頓に增加したる結果屠畜數は月々增加し來れり

●東拓支店長轉療

大連東拓支店長安東義喬氏は過日來病臥中の處小康を得たるを以て轉地療養の爲め歸省せり



▲京城から大連に移錫した圓山大嶺和尙も長い間孤笠單蓑で道を說いて居つたが德は孤ならず近來有力なる後援者多數を得て愈々大連南山東麓に宏大なる寺院を建立し和尙が多年理想して居つた立派な伽藍も建築する計畫で目下奔走中である▲寺の敷地二萬二千四百餘坪は此の頃貸下の許可を得たといふ事だ▲支那人の正月が近くなつたので大連あたりでも爆竹の音が時を嫌はず市民の耳を驚かして居る▲何んでも今年は數を限つて許可したので支那人の方ではそれなら此方は數は少なくとも大きな音をさせろと云ふ處から例年よりも大きな爆音を立てゝ居るのださうだ▲支那本國では爆竹を禁じられて居るさうだが關東州では何に彼に付け支那人の慣習を重じて嚴禁をせぬから彼等も定めて有難く思つて居る事であらう（末大）



◇牛肉の佃煮◇ 牛の赤肉を適宜に切り、その水が煮立つたところに入れ、細く切つた古生姜を一緒に入れて一煮立ちしてから味醂、砂糖、醬油を加へ、火を弱めて氣長に煮つめます。汁が煮つまつたところで鍋をおろし、瓶物にでも移して貯へておきます。牛肉のこまぎりにでもなかなか結構に出來ます。但し、こまぎりの場合には、一度煮でこぼして砂糖だけでよく煮、肉が軟かになつたところで前のやうにして煮つめます。これは御飯のお菜として大層喜ばれます。夏でも二三日位は保ちますが、すべて硬い肉は、火を入れかけば更に結構です。すべて硬い肉は又火にかけて砂糖だけで煮ると驚くほど軟かに煮えます。

演藝案內

黃金館 天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店 電話二六三七 二六六 ◎二月八日より新提供 ▲新派悲劇「陽炎」全四卷 ○舊劇「渦」全五卷 ○喜劇「三人太郎」全五卷 [illegible]

壽館 京本町 電話一〇五〇 ◎二月十日午後五時開演 浪花節我孫家第二蝶々會一行 一番目 笑劇 驛長と局長 二番目 喜劇 當り的 三番目 喜劇 午前一時 ○本日配付番附に印刷し三等入場券切拔御持參の方に限り無料とす

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 二月八日より特別大寫眞 ケーブルニンシュラの風雲 ○滑稽 [illegible] ○新派探偵劇「捨小舟」全五卷 [illegible]

有樂館 日本活動寫眞株式會社一手代理店 ○日米親善『日出の國』九編十編 ○新派悲劇「良人の仇」全五卷 ○舊劇「松竹梅三人娘」全四卷 ○新派劇『電話の聲』十五編卅卷完結 [illegible]

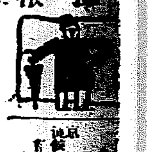
稻荷座 本町五丁目 浪花節身振芝居 市川團之助一座 第十日替狂言 ▲前狂言 侠客楠正太郎傳 每日續き 切狂言 義士傳 淺野內匠守 田村屋敷切腹場 ▲第十一日替狂言 前狂言 侠客楠正太郎傳 每日續き 切狂言 義士傳 大石良雄南部坂雪別

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番 ○每夜六時より開演 大阪落語若手一座語樂會 今晩より東家樂月氏が後援として出演 一落語、一落語（近玉）一落語、滑稽浪花節 一曲（花輔）一落語、手踊（近牛）一落語（右團遊）一手踊 一落語、手踊（歌六）一大切喜劇（總出）

▲物は付『手の屆かぬものは』 ▲謎「犬とかけて」 ▲一口頓智 ▲下句付「化けたのぢや」

十二日	十三日
十三日	十四日
十四日	十五日
十五日	十六日
十六日	十七日

[illegible]表後一週間以內に[illegible]又は同案を[illegible] ●入選者には五十錢商品券を呈す ●但何番何號と明記に限る ▲宛名は京城日報編輯局懸賞文藝係



京城 觀測所 [illegible] 氷點下二十七度五分 [illegible] 氷點下五度三分 [illegible]

堅牢無比 パイン「學生號」萬年筆發賣 定價貳圓八十錢也

讀者諸君の御希望により技術最も優秀なる「パイン萬年筆」製作所に命じ特に製作せしめたる此『學生號』はペンが小ひのと總ての粧飾を除き實用を專一とした爲めに斯く廉價なのであります
▲『學生號』は「パイン」の姉妹とも云ふべきもので外見は少しも違ひませぬ
▲同じ「十四金ペン」同じ最上の「エボナイト」軸で此の耐久力高價の萬年筆に少しも劣らず銀行、會社、學生間に盛々喧傳されて居るのも此故に外ならざるのです
□發賣元 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

謹告
金鷄香水 壹本ニ付（大瓶 十五錢 中瓶 十貳錢 小瓶 五錢 豆瓶 三錢）
ツル香水 壹本ニ付（大瓶 十五錢 小瓶 十錢 大豆瓶 貳錢 小豆瓶 壹錢）
原料品昂騰のため今回以上の通り
値上げ仕候
鷄香水日本輸入元 舶來雜貨直輸卸商 大崎組商會

◎朝鮮行貨物特約運送開始御披露
拜啓 厳寒の砌益々御清祥奉賀候每々格別の御眷顧を蒙り難有厚く御禮申上候弊社儀從來鮮滿移輸入並に滿洲行貨物取扱致居り候處今般鐵道院より朝鮮行貨物特約運賃の承認を稟け朝鮮行貨物の取扱を二月一日より開始致候に就ては之が特技と經驗を有する從業員並に伸仕を增備し最も著實なる運送を實行すべく奮勉努力機宜に適したる御理想の御取扱可仕候間御後援的御同情を以て續々御出荷被成下度此段御披露旁々御願迄如斯御座候
大正七年二月一日
大阪驛前 株式會社 富島組鐵道部
電話北 五五八番 五三九番 通關係 電話長土佐堀 七六四番
追て不日社員御地に出張何乎と運輸上の御協議御願申すべく候へ共不取敢紙上を以て御挨拶申上候

左甚五郎

第百六十五席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

葉町の芝居茶屋の二階で石川六兵衛が橋本金作を呼で暫く酒宴をして居りましたが、六兵衛を始め取巻きの者は一人立ち二人立つておつやと金作が對偶になり何か密々語り合つて居りまするところ、障子を開けて其處へ入つて來た者がある故二人は驚き是を見ると座元の坂田右衛門の妹おそめ、據て金作とは京都にて夫婦の約束をいたし定

右衛門も是を知つて、妹が執心なれば添はせて遣らうと云つて居た。然し未だ夫婦といふ披露をした譯ではありませんが、金作を妾と思ひ、おそめも夫と思つて居りましたので、其のおそめが突如に入つて來たから金作は驚いて　金『オヤお前はおそめでは無いか、何うして此處へ』そめ『來たのが悪いのでございますか、貴下はまア、本統に薄情なお方、京都に於て互ひに言ひ交したことをお忘れなすつたか、妾を置いて何で此處へお出なすつた』金『コレおそめ、お前はまア何を云ひなさる、此のお方は小船町の石川のお嬢樣、私を愛顧にして下すつて態々お呼び下されたのを、何か此のお方と理由でもある樣に云ひなさるが、お客樣へ對して失禮ではないか』そめ『それは役者の女房にでもならうといふ者ですから承知はして居りますが、夜の更るまで對偶で話しをして居る譯はありますまい、さア妾と一緒にお蹤んなさい』と金作の手を執つて引立やうとする。おつやも餘りのことゝ思ひました故　つや『お前さんが金作さんのお配偶でございましたか。何うもとんだ失禮をいたしましたね、さア早くお伴れなさい、ダが役者のお內儀さんにしては、餘りお粗末の無いことで』そめ『何うせ妾は野暮な女で、察し心などはありません、役者買を爲やうと云ふ樣な貴下方とは違ひます』金『コレサおそめ、お客樣に對つてそんな失禮なことを云つてはなりません、何うしたものだ、を氣を沈着なさい』そめ『大事な亭主を他人に取られるかと思へば沈着いては居られません、お前さんも大概にするが宜うございます』金『何を云ふのだ』そめ『何日のことを妾が喋舌たらお前さん方は生ては居られますまい』と云はれた時に金作は見る／＼內に眞蒼になつてブル／＼慄出した　金『コレおそめ、何うか其のことばかりは云つてくれるな』そめ『ソレ御覧なさいそれほど大事の妾を何んで見捨なさるね、又其處にお在の石川の嬢さん貴下方も一ッ穴の貉でありませんか此おそめが邪魔い居でベラ／＼喋舌たら貴下方親子も死罪は免れますまい』と云はれておつやも顏色を變めて慄て居る、金作はおそめに對ひ　金『コレおそめ、何にも云つてくれるな、皆な俺が悪いのであるから了見を直して何うか此の場を引取つておくれ、俺も跡から直に歸るから』おそめはやう／＼機嫌を直して　そめ『それではお前さん直に歸つて下さいよ、妾は先へ行きますから』とおそめは立上つて、おつやを睨んだ儘出て行きました、跡に殘つた金作おつやの二人は互ひに顏を見合せてホッと息を吐き　金『おつやさん、ヒョンなことになりましたな、俺は切支丹を信じて居りまして十字架さへ持つて居りますが、それをおそめが知つて居る故身動きも出來ません』つや『妾が父の石川六兵衛も切支丹の信者でございまして天主教を信んで居ります、それのみならず異國船と拔け買交易などをいたして居りますから何うしておそめさんが知つたのでございませう、口外をされては親子の者の命にかゝはります、何うか宜い工夫はありますまいか』と金作おつやの兩人が茲に相談をいたしまする。

外科一般　皮膚科
泌尿器科　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話四一九番

東洋捕鯨株式會社特約販賣店
鯨問屋　香月商店
京城府明治町二丁目四八
振替口座京城四八四六番

暦

二月十二日　九星
舊正月朔日　庚寅
本命六白　乾　鬼　女　引

▲六白●恐の氣に眼の從日新事見合南方は吉 吃飯乾▲七赤●理願の日轉居行商入學名引求 金件求職者禁裁訴訟の和な 吉▲入白●大荒りの日轉居旅行入 移名 退求職 出漁金件婚禮定期業務皆吉▲九紫●物の崩る意味する日新事手控事は吉小見ね生注寫の事▲一白●床しき日轉居旅行入門名引求職金件造船婚諸音樂業務皆吉▲二黑●上運の日男子は富の志願を調へ女子は意外の良縁を得る大吉祥の日也▲三碧●懷悩のたらめ事有日新事手控衛事は吉向爭ひを謹まるべし▲四祿●不運の日午前不印午後は吉新事手控苦難薬は妨なし▲五黄●凡事利運の日轉居入學求職名弘金件建築婚禮人等吉物に勝の日

二月十三日　九星
舊正月二日　辛卯
本命七赤　西　除　先負

▲七赤●冠履轉倒の事有日新事見合南方は吉旅象西▲入白●願調の日轉居入學求職名引築造業婚禮金談婚禮製紙業等吉▲九紫●厄介至極の事有日新事手控萬事は吉一切の判事た慎す▲一白●願望日轉居旅行出漁名引盟談求職業談金融業等萬吉▲二黑●邪推なる日轉居旅行金談盤升求職造船婚禮試驗を受る萬吉▲三碧●居込に來る事有日新事手控萬は吉保證連帶等な禁ず▲四祿●一利一害の日も雖も亦新言の方吉稿楽農談妨なし▲五黄●掴子よき日轉居入學等皆吉女子の獨立自營たら計るに好針▲六白●先則挽押えて得ざれ日萬進で大利有待人良報を伴へ來る

▲廣　告▼

結婚の翌日

△花嫁駈け出す
△原因はわきが

翠帳紅閨枝さしかはす相生の松さても琴瑟の情深かるべき夫婦にも僅か一夜にして夫にわきが(○○○)を見せられ恥しさの餘り實家へ逃げ歸ると云ふ事は往々耳にする處なるが此れ程迄に人に嫌はれるわきがは是迄少時間だけ抑へるとか又は他の香にて紛らすか姑息の手當しかなかりしが之れが療法に幾多の苦心研究せし本郷順天堂にて發表せし自宅療法を行へば目の前に悪臭止り今の中に實行せば夏になりて多年の煩悶も忘るる早速ハガキで東京本郷區眞砂町本郷順天堂へ照會されよ秘密に無料で詳細通知される

大阪で大流行の　高貴御召と大島

大阪東區神崎町大阪工科學校前田吉屋呉服店卸部は常に機敏に活動し時に臨じて紙當流れ或は見切品を一手に引受け最も格安に直接需用者に販賣し非常の人氣を博し同業者をアッと云はせ今回又々高貴御召縮一反只の三圓廿錢●別上三圓八十錢●絣大島一反只の二圓九十錢別上三圓五十錢と云ふ未曾有の出來ぬ馬鹿直段で賣出して居る飛ぶが如き賣行である希望者は此際品切れにならぬ內至急ハガキで男女別年齡を記入して申込めば納合親切に見計ひ代金引替(運賃實費)にて送る由

胃が丈夫

であれば膽力も強健になる、頭腦も明晰になる而して有ゆる活動にも艱難にも容易に堪へ得る樣に成る　胃を丈夫にするには我陸海軍の五大軍醫が合議して製剤た健胃劑中の王と云はるゝ胃活を服むに限る

胃病良藥

胃活

定價　胃活壹圓・二圓五拾錢・四圓五拾錢・廿五錢・十錢
胃活錠壹圓・五拾錢・廿錢
本舖　東京日本橋本銀町　山田安民藥房
大阪南久寶寺町二　山田安民藥房

消渇で困る方
りん病
切手三錢送れ自宅で秘密に治す妙藥を人助けに無代でお教へ致し升
名古屋市南かじや町　武藤龜吉

誰でも出來る　子宮病自宅療法

子寶なき原因と姙娠法
二月に注意すべき婦人の衛生

恐るべきは子宮病で第一壽命を縮め、第二子供が出來ず、第三容姿を醜くします。子宮病には急性のものは極で稀で多くは慢性で御座います。皆様も御存でせう
月やくが不順の人◉逆上頭痛のする人◉肩凝眩暈のする人◉脚腰下腹の痛む人◉手足が冷る人
斯樣な御方は乾度神經が過敏で、血色の悪い青白い顏をして居られます。又頬などの赤くなる方は、俗に云ふこしけが多いので、何れも子宮病や血の道に罹つて居られる證據であります。是れが永く續くと段々衰弱して身體は衰ろへ、貧血はする、呼吸は苦しくなる、動悸は亢まる、食物は進まず、便通は惡く、氣分は鬱ぎ、駄々子の樣に短氣で不性で氣六ケ敷くなり、一寸した事が氣にかゝり、譯もなく過ぎ去つた事や種々の取越し苦勞をして泣いたり怒つたり悲んだり、而して物事に倦み易く勞れ易く嫌になり手足が痺れ惡寒がし續いて發熱する下腹が重苦しく筋張り、內股や腰の邊が絶えず痛み、小便には度々行きたくなり局部の周圍が痛痒く不潔でいやな臭がし終ひには卵の白身の樣な粘りある下り物がして時々出血する事があります、斯なると病勢は餘程進んでゐるのですから治療が少しでも遲れると一生不姙となり幸ひ治しても月日を費すばかりか取返しの附かぬ病症を惹起して命迄も失ふ事になりますですから此時期が一番大切で又最も危險い所で死生の境目で御座います又昔から

▼寒氣は姙娠の大敵

と云ひますが、實際寒地で子の無い人が、温暖な地方に移つて始めて姙娠した例は澤山に御座います之に反して暖かい地に於て屡々姙娠した人でも、寒地に移つてから更に姙娠せぬやうになつた例も尠くありません、其他學者の報告や出產届により姙娠月を調べて見ても姙娠は春秋に多く夏冬に少く、殊に大寒は甚だ稀であります。是れから考へても婦人方には冷えるのが一番毒で又冷込みが子宮に大害のある事が御解りでせう、從つて此頃の樣な寒明き前後の寒さの嚴しい時分は最も危險でありますから何誰も油斷をせず片時も早く適當の養生をなさるが肝要です

▼子寶を得る最良法

一體婦人病の中で子宮病程多い病氣はありません、此の病氣は大抵緩漫に來るもので、急に惡くならぬから、始めの內は自分で氣が附かれ、時候の加減か少し月經が不順のやうな位に思つて自然養生を怠り勝で御座います、又一旦本病に罹ると如何に輕症のものでも全く根治しない間は何うしても子供が出來ません、世間には子寶がないと自分等夫婦に限つて子種がないからだと斷念て居る方も尠くない樣ですが、決してそんな道理はない勿論其處が良人にある事も御座いますが、十中の九迄は婦人方が本病に犯されて居るのが多いので御座いますそんなら

何するのが一番よろしいか

と云ふに、それは婦人科專門の大家數名の方が御書になりました

『婦人病者の心得』

を讀んで其通りに養生なさるのが最も安全で確實な療法で御座います『婦人病者心得』には婦人病一切の治療法、姙娠及不姙の原理、產前產後の養生まで詳しく說明してありますから何人も安全に治療する事が出來ます(此に依て全快した方は此療法を一)本書はハガキ又は電話にて『東京市京橋區新榮町(電話京二二〇一)笹岡省三宛申し込めば早速無代進呈致します。

汽車　京釜線(南行)　同(北行)　京釜連絡　湖南線(南行)　同(北行)　京義線(北行)　同(南行)　兼二浦線　京仁線(仁川行)　京元線(北行)　同(南行)　[illegible]

滋養強壯　芳香美味

登錄商標

◎蛇の目印ポートワイン

(現品縮寫圖)

本品は最も優良なる天然純良葡萄酒を素とし有効なる補血强壯劑を配合し精製せし醇良無比の甘味滋養葡萄酒なれば御愛飲の御方は消化を助け食慾を進め血を增し肉を肥し殊に誇るべきは精力を强くする等一般御家庭に於て日常御飲用せらるべき絶好の理想的滋養强壯飲料なり

賣捌所は全國到る處の洋酒、和酒、罐詰、食料品店及藥舖、雜貨店にあり

【類似品あり登錄商標◎蛇の目印及松下善四郎に御注意被下度候】

發賣元　洋酒食料品　煉乳家庭藥　罐詰雜貨　直輸出入商
(力)　松下善四郎
大阪市東區高麗橋貳丁目
電話本局一八五　長一八六　長八二〇
電信略號マツセ　振替口座大阪二六

朝鮮學術研究會編　發行所　京城本町二丁目　電話二五二　振替二二七　ウツボヤ書籍店

朝鮮　中學校　商業學校　高等女學校　高等普通學校
入學試驗問題答案集
四六版　二百餘頁　定價金五拾錢　送料四錢

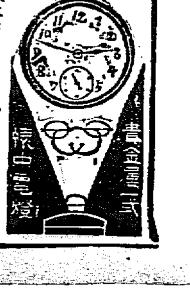
學生諸君……御待兼の入學試驗問題……賣切れぬ內に……買ふて入學の榮を得られ事を

安藤善四郎著
朝鮮鑛石學及採鑛法
四六判　二百五十頁　定價一圓武十錢　送料六錢

朝鮮　漢方藥料　藥草　植物調査書
四六判洋裝　定價九十錢　送料四錢

發賣元　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番　電話六六〇番　構內十八番
賣捌所　大阪屋號　京城日報社代理部　巖松堂

花柳病　外科專門
◉梅毒◉淋病◉泌尿生殖器病◉痔疾◉肛門病◉皮膚病◉婦人病◉神經衰弱◉ヒステリー
(909)
京城南大門通農工銀行裏
司生堂醫院
電話三〇六五番



京城本町二丁目
川合時計店
電話一九一八　振替京城一二一九

京城日報
二月十一日朝刊　（朝夕刊併せて八頁）
第五版

[illegible]が今や獨逸が潜航艇を建造すると同速度を以て敵艇を撃沈しつゝ[illegible]るが故に逐送艦護衛法及び敵艇攻[illegible]點に對する經驗は遂に對潜艇政策の改善となりたるが爲め潜艇も十[illegible]何れかの造船所にて組立て居るが爲めに地中海に於ける潜艇は決して數に於て減少したるものには非[illegible]其被害が重に夜陸にあるを以て知る可きなり編送は豫防方針こして戰前より潜艇を建造するに努力[illegible]働を充分ならしめざる結果となりたるは事實なりと（東京）

[illegible]卽日實施したるが當日僅かに十錢方の低落を示せるのみにして一時的現象に終りたるのみならず其[illegible]値を現出し翌日も亦前日三四兩月渡五圓見當たりしもの七日五圓六十錢の氣配を見せたり而して七[illegible]たる一方其後に於ても輸出商漸成[illegible]ありて內地供給の不足を見越すもの漸く多く爲めに斯くの如[illegible]其原因にして自然的需給關係に因るならば兎も角若し暴利を貪らんとする事實あらば是等の商人は嚴[illegible]なるを以て當局に於て目下嚴重警しつゝあり（東京）

本紙定價　[illegible]
廣告料金　[illegible]
發行兼編輯人　[illegible]
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社　電話[illegible]　振替貯金口座京城[illegible]

祝紀元節

神武肇國以來、茲に二千五百七十八年、[illegible]丕基を紹述したまひ、今月今日紀元節の佳辰を迎ふるに方り、下萬民をして歳慶に頼らしめたまふ、坤輿國を成すもの多しと雖も、未だ曾て我に儔ふべきものあるを知らざる也。

惟ふに國運の隆昌は、一に天理人道に從ふに由て之を期し得べし、我建國の使命は、天理を闡明し、人道を究盡し、之を人世に布くに在り、上下三千歳、苟も悖らず、是れ我が國史の證するところ、而して國民は、克く我國の使命を了會し、其の國家に對する信念[illegible]生活の根本義たり、極東の島帝國、僻土磽磧にあらずして、民庶甚多きにあらず、國富亦甚大なるにあらず、然かも國威維揚り、世界強國の班に伍し、東洋の盟主を以て處るもの亦理由無しとせず、歐洲の大戰は、人命を害ひ、財貨を摩するの多大なる、洵に測るべからざるの慘禍を遺す、其之を作爲するものは科學の力にして、世界文化の中心に於て行はる、達人たりと雖、泰西の文明に對して一點の疑義無きを得んや、さりながら近來、英國に於ける個人主義の變化、米佛國民の國家觀念の轉移等、從來國家を科學的に分解して、國家は國民の福利の爲めに存在すと做せるの一變して、國家は國民の福利を保障す、同時に國民各個の遵守すべき人間の大道は、國家之が保障たり、人道を保障すべき國家は、苟も人道に背反すべからずと信ずるに至れるが如きを見る、卽ち國民の福利の爲めに存在する國家が、外に對して人道を堅守する能はざることもあるは、避くべからざる當然の結果たるを認め、其の國家觀念の不合理なるを自覺したるに似たり、斯くて我國民は、列強國民の思想、漸次我に接近し、泰西文明に對する疑念の消滅すべき時期遠からざるべきを信ずると共に、我建國の精神は竟に人類の福祉と全然相一致するの確證を得たるの感なくんばあらず、謹むで東天を拜して皇運の無疆を祝し奉る。

海外銀行の活動と朝鮮銀行（一）

京都帝大に於て　美濃部總裁講演

二月九日美濃部鮮銀總裁は京都帝國大學に於て「海外銀行の活動と朝鮮銀行」と題し一場の講演をなしたるが其の要旨左の如し

（前略）朝鮮銀行の實質に付陳べんとするに方り朝鮮銀行なる名稱が今日其の實際に副はざるに至れるの一事は特に諸君の御留意を請はざるべからざる所なり蓋し朝鮮銀行が明治四十二年舊韓國に於ける中央銀行として設立せらるゝや當初專ら朝鮮內に業務を營むに過ぎざりしが後

△滿洲との交通機關整備

を告げ鮮滿內の經濟關係次第に密接の度を加ふるに及んで當行は進んで支店を滿洲に開設し其の結果朝鮮銀行券も亦漸次滿洲に流通せらるゝに至り爾來支店の增設と相俟て其の流通高は急速なる增加を告げたり然るに昨年に至り帝國政府が鮮滿經濟統一の大方針を樹立せられ之に伴ひ從來橫濱正金銀行の滿洲に於る國庫事務及び金券の發行は之を朝鮮銀行に引繼ぐと同時に朝鮮銀行券に對しては朝鮮に於けると均しく關東州租借地及び南滿洲鐵道附屬地に於ても亦强制通用力を附與せらるゝに至りたるを以て當行は茲に朝鮮の中央銀行たるの地位より一躍朝鮮及び滿洲に於ける金融の中樞機關となるに至れり是れ今日朝鮮銀行なる

△名稱が實際に副はざる

の觀あるに至りたる所以なり固より斯の如き變化は決して偶然の出來事にあらず畢竟時代の大勢に基く頗る深き意味を存するものなることは特に之を了得せられんことを望む銀行法に依るときは銀行とは一方公衆より預金を受入れ一方割引貸付又は爲替の取扱ひ等を營むものを云ひ普通銀行の業務の主要部は大抵之に盡くと云ふを得べし斯の如きは唯銀行業務の形式より觀て之に法律的の定義を下したるに過ぎず更に深く銀行の營む業務の目的及び之より生ずる經濟上の效果を觀察するときは夫々特別の意義を有するを見るべく此の意義は卽ち其の銀行の業務に生命を與ふるものにして之に從事する者をして記帳計算等無味乾燥なる所謂銀行事務の裡に

△別個の妙味を感せしむる

は蓋し此の意義の存するに依りて然るものなり而して朝鮮銀行は如何なる意義を有するや是れ吾輩の本日茲に諸君に語らんとする主要の點なり

一般の銀行に關し學者は種々の標準に據りて之を分類するを常とす卽ち一國若くは一領土に於ける銀行の地位より觀て中央銀行と然らざるものとの二類に區別することあり或は銀行券を發行するの特權を有するや否やに依りて之を發券銀行と然らざるものとに分つことあり或は業務の性質よりして商業銀行不動產銀行貯蓄銀行等に分類することあり朝鮮銀行は此等の分類に依るときは卽ち中央銀行たり發券銀行たり又商業銀行の一なりとす而して此等の業務に付一々研究するは極めて必要にして

△又興味なきにあらざる

も時に限りあるを以て之を省き近時學者並に實際家の屢々用ゆるに至れる內國銀行と海外銀行との分類に付述ぶることゝせん此の區別は銀行が主として活動する地域を標準とせるものにして卽ち本國內に於て營業する銀行は之を內國銀行と云ひ本國以外卽ち植民地若は外國に於て活動するものを海外銀行と稱するものなるが如し本邦に於て最も古き海外銀行は橫濱正金銀行にして次は臺灣銀行なり朝鮮銀行は母國に於ても現在東京大阪及神戶に營業所を有し勿論相當の業務を爲しつゝあるも銀行全般より云ふときは此等母國に於ける店舖は植民地及び外國に於ける業務を圓滑ならしむるの必要上設けたるに過ぎず朝鮮銀行の主たる活動地域は

△朝鮮滿蒙支那

本部其の他諸外國に在るものなるを以て此の點より見るときは朝鮮銀行も顯著なるものなり此の海外銀行なる名稱は予の記憶する限り本邦にては古き用語にあらず從て其の性質及び任務に就て一言するは必ずしも無用ならざるのみならず朝鮮銀行に於て先づ海外銀行の活動を說明するの必要なるに思惟するを以て頗る冗長に亙り且つ下手なる所あらんとす

神聖肇國

詩苑

滿月臺懷古　大久保[illegible]

[illegible]

寄某操觚家　橫田天風

[illegible]

菁堂曰　起筆擧古樂府、結末感慨系之

華虹門

石堰百尺蒼穹横。橋門在背規模宏。勾欄飛甍參差起。金碧燦爛映水明。空想阿房詞賦句。呼做華虹不負名。修廊直接羊腸徑。一帶林丘苑囿成。澄潭如鑑照簪纓。老松瑞風月有聲。憶昔君王駐鳳蹕。游觀春酣簇冠纓。玉杯盛得紫氏酒。無復相公問牛喘。九泉返君不見露莖似晒消無痕。君王魂。

菁堂曰　彼唐宋勝、歷々如觀、後半、戒君王之驕奢、傷黎民之困弊、諷規備至、寄某操觚家人。君是忠君愛國人。胸襟落落誰能[illegible]

擬縱橫文章忠孝重仁者樂山智者水

菁堂曰　亦君子哉、

其二

文章消遣意氣剛久將斯道補綱常胸中別有開天地嘯月吟風入爾狂

菁堂曰　亦風流、

其三

談博精深賢哲學無新一籌心逡巡雅淡君八十有高才古德風流尊謙學

菁堂曰　才學兩兼、

どうして（六十七）

布施延生譯

瑠璃子は氣遣はしさうに『父樣玩具ですよ、此方がお製作になつて之から賣りに被往るのよ』と言つて手を合はさぬばかりにした、瑠璃子が之程身を卑屈に持扱ふのは思はれ宮つてない事であらう『何だいやに何も無いのか』『ございません、父樣大丈夫よ』親爺はまだ少時胡散臭そうな顏をしてゐたがそれでも素直に隔りかけながら『やい胆度ないか、有つたら大變だぞ』瑠璃子は吾に復つたらしく恠乎して暫時茫然と何も覺れぬ樣子であつたが親爺は構はず突然娘の肩に太い手を懸て『ぐん／＼彼方へ引摺つて往つた。

園栖はそこ／＼に階下へ降りて宿の主婦に『主婦さん二階へ上つて僕の部屋に居て下さいな、直隣の親爺の部屋でつてくるから、あの親爺の部屋で何か怪しい事は無いかよく氣をつけて下さい』『畏りました』主婦は異議もなく點頭て『幸之から靴下の綻を補ふのだから何處でも出來る』と獨語を言ひながら仕事箱を捺へて其儘二階へ昇つていつた。之で大丈夫とは思ふもの、實は留守中氣が氣では無かつた、生憎署へ往つても探偵長は居ず其處此處を搜廻るのに暇がいつて到頭自宅で本人を看附けた時は思はず跳ろ腹立たしい位であつた

此の前よりも一層問題に力瘤を入れて居た探偵長は園栖が一伍一什を話すのを聞終ると喜ばしさうに『いや御目出度う、どうやら君の手柄になりそうだね、僕の方はあの晩以來未だに一向手懸は無しさ、時に僕は今朝武烈氏に會つたよ、流石の變人先生も今度は大分身に浸みてゐる樣子だぜ』『さうですか、どうか巧くやりたいものですな、何しろ有難いと思つて貰へば吾々の方はそれで本望ですからね、そりやさうと最早あの人に尋ねてゐる本人が無事でしかも眼前に居ると知らしてやるのも餘計な仕事ぢや無いでしやうか尤も何も吾々まで當人同樣性急に騷ぐ必要もありますまいが』『それは何』言ひかけたが不圖思付いて『そこは角一つ谷女に賴んであの娘さんに手紙を書いて貰ひたいものです、が、御家流の崩しか何か一寸素人に分りにくい奴で武烈氏が今はあの娘さんを慕つてゐると云ふ事、吾々が救助に骨を折つて居る事を知らして置くんです、で無と肝心の時になつて娘さんが吾々を信じて吳れないと困る、勿論手紙には宛名や自分の名は書かないで置くんです、谷女に文案が出來なければ誰かに作つて貰ふんですな』『探偵長貴下が作つておやりになつても可い、雖是非とも眼に馴染のある谷女の手跡で書いて貰ひたいんです』探偵長は卽座に贊成して其の手紙は明日の朝迄に屆けるからと約束した、園栖はそれから猶も委しく其の手續きに就いて色々計畫を話したが探偵長は一々贊成して無暗に手柄を讃めてくれた、園栖は嬉しさに有頂天になるばかりであつた。

『萬事君が望通りに運び給へ、大手柄は茲二三日の中だぜ、だがね用心したまへ、思はぬ事で失敗はないとも限らないから、兎に角急がずに沈着いて懸るんだね』『探偵長先日は貴下がお手柄でした、明日はどうか僕に手柄をさせて戴きたいものです、今度失敗したら僕は死んでも死にきれませんよ』『なあに大丈夫僕も今度は君の成功を疑はないよ』園栖はやつと安心して猶も細々と手筈を打合はせた上急いで下宿へ臨つた、歸つてみると主婦は正直に園栖の部屋に坐つて山のやうな靴下の破れを補くつてゐた。『お還りなさいまし、貴下之で二十三足目よ、眞正に良人や子供の足には愛想が盡きて仕舞ふ、足ぢや無い、宛然剃刀だわ、一昨日履かせたのが御覽なさい、一日でこんなに孔をあけて仕舞ふよ』園栖はうまく調子を合はせてから隣部屋の樣子を尋ねてみた『靜ですよ、部屋中寂然として耳こすりする響も聞ませんでしたよ』園栖は默つて默頭た。

◇雜誌抄

◇天才と親（科學と文藝）

一天才の父は大抵都會に住して自分よりも非常に若い妻を有つ者である
一天才の父は見て餘り頭を使はない職業の人である
一天才の父の年齡は二十六歲以上三十八歲までゞある
一天才は長子に多く次は第三子である（以下略す）

急告

擦告中の「最新朝鮮地理」一般より續々非常の御期待を蒙り居り候處御下命に接し居り候處印刷校正に御手間取り候外に背かざらむが爲め切に御待十二分の注意を拂ひ居り候條遺憾ながら發行遲延候二月末日頃こ相成可申候に付不惡御諒承被下度此段謹告候也

京城太平通壹丁目　京城日報代理部　電話六六〇番　振替口座京城三二〇六番

◉當籤番號發表

弊社取扱に係る勸業債券月賦販賣に對し當籤したるもの左の通り

金百圓　六七回　市內明治町　七八　三二八號
金百圓　六七回　市內明治町　六木　暮ケ　イ號
金拾圓　六七回　開城　九　八六三號
金拾圓　六七回　開城　三　戶田　七四一雄
金五圓　六七回　宮　崎　六　九號
金五圓　六七回　市內明治町　八　木　暮ケ　イ號

京城南大門通二丁目　日本國債債券株式會社朝鮮總支社

成金の秘訣と生活難の救濟

黃金萬能の新時代に於て、大小各種成金の秘訣を述べ、生活難の苦境を脫し恒產を得以て、人生の眞生涯

■七十日間資本五倍增法▼

に入らんと欲する人士の爲に、高尙手數要せず婦女にも出來得る副業を敎ゆ
說明書ハガキ申込無代進呈

東京市桃町區富士見町　副業新聞社

佐野義三に告ぐ
急談ある居所知らせ
大阪天王寺　西

最新刊

書名　著者　定價

趣味叢書　和歌及手びき　俳句手びき　四〇
直ぐ間に合ふ家庭よろづの心得　熊谷猿之助　七〇
敎育の米國　吉田熊次　一、三〇
日本全國民謠話　石井研堂述　九〇

英語の學び方　岡田乃武外二十五大家述　一、二〇

紅葉句集　久保撫葉　一、八〇
課外讀本二月の卷　萩原陽　一、〇〇
第廿二版日本紳士錄　大正七年一月　五、〇〇
藥草栽培と其販賣法　萬代忠義　九五
天才の手紙　小泉鐵　一、八〇
縮刷　肉彈　櫻井少佐　七〇
縮刷　銃後　櫻井少佐　一、〇〇
名家傑作集十二夜　樋口一葉　五〇
同　白露紅露　幸田露伴　五〇
同　還魂錄　林太郎　五〇
同　彼女と少年　秋聲　五〇
同　照葉狂言　鏡花　五〇
同　野の花　田山花袋　五〇

大阪屋號　振替[illegible]

七川龍里　福西製粉所　電話三二六番

自働車賣却廣告

米國製フォードカ二三十馬力貨物自働車積載重量壹噸半人乘ホ一ト式及三十三人乘自働車各一臺ノ改造費僅少にして至極便利なる備品等は希望者は左記へ御申込被下候へば直に御回答可仕又現品御覧に供すべく候

忠淸南道鳥致院　吉川直藏

優良化粧用

アカシヤ石鹼　ACACIA SOAP

大連　萬玉洋行

京日案內

普通　一回前金五十錢（一番外一回前金一圓）

▲申込は中途廢止の節は料金不返戻▲六回以上の御申込は特に割引のこと▲御申込は必ず姓名番號御記入なるべし

普通

齒科代診入用　高給を給す
釜山幸町　深江齒科醫院　374

番外

◉給仕採用　年齡十四五六歲小學校卒業以上の者希望者至急履歷書持參あれ　東洋拓殖會社京城支店　350

◉商會員入用　但し外交係午前中又は夜間本人來談あれ　永樂町二の五公債株式現物問屋　丸五商會　367

◉日鮮人社員並支局長募集　月給及步合有　履歷書持參午前中要來談　京城林町二九一　兒童新聞支社　367

◉電話賣却廣告

京城一四一三番　右電話至急讓渡し御入用の方は電話五六六番へ御話被下度候　373

成金か商倘で手數を要せずに僅の方に斷呈す　七十日間に資本の五倍增しになる秘訣をハガキで申込み　東京麴町區富士見町　副業新聞社　371

社員及給仕募集　男女を問はず希望者自筆履歷書携帶來談あれ　黃金町一丁目　支部　蓬萊生命朝鮮　363

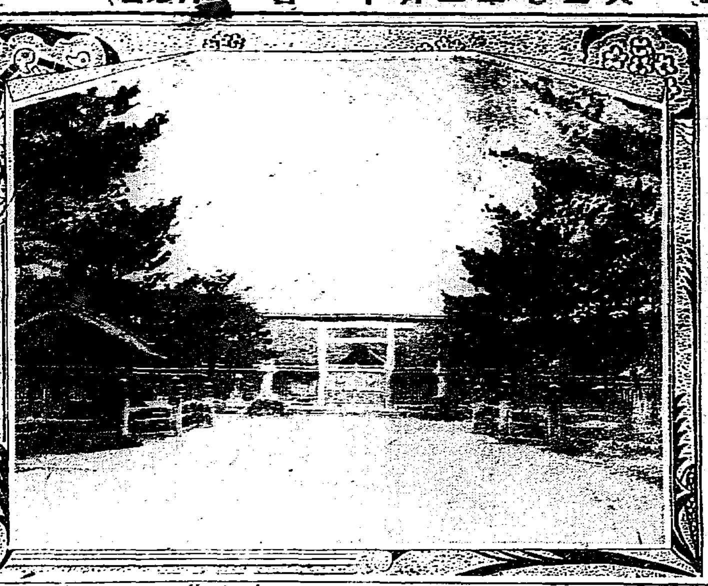
社員招聘　業務擴張に付給社員採用希望者は履歷書携帶來社せられたし　京城黃金町二丁目九六　日清生命保險會社朝鮮支社　363

車輪板ロクロー　雜木各種　黃金町一丁目　板家具用材　本明雜木店　355

恩給年金長期低利即金立替　公債債券現物賣買　引無切手數料　京城若草町百六　電話三〇〇番　西村商會　3 5

鑛物各種分析　明治町二　支那領事館前　郵便本局裏通　田部分析所　電話長二七七一　233

◆橿原神宮玉垣御門前



●曹錕南下を阻る

橋梁を爆彈にて破壞され死傷者無きも爲めに南下を喰止められたり（北京特電）

宣撫使曹錕氏は南下の途中橋梁を爆彈にて破壞され死傷者無きも爲めに南下を喰止められたり（北京特電）

●シベリヤ政府倒る

トムスクに於ける西比利亞獨立政府の各閣員は過激派の爲め拘禁されたるが其結果西比利亞政府は遂に倒れ獨立運動は水泡に歸せり（哈爾賓特報）

●外相山公訪問

本野外相は十日午前九時小田原古稀庵に山縣公を訪問し外交上の報告を爲せり（東京特電）

●樞府委員長

樞密院に御諮詢中なる皇族裁判令特別委員長蜂須賀茂韶侯病狀險惡となり委員長を辭せしに就き近日山縣議長より後任委員長の指名ある筈（東京特電）

●蜂須賀侯

十日午前二時薨去

樞密顧問官貴族院議員正二位勳一等侯爵蜂須賀茂韶氏は去月下旬頃より風邪の氣味にて芝三田綱町の自邸に靜養中の處氣管支炎に腎臟炎を並發し十日午前二時薨去せり行年七十三歲、飛報に接せる親戚德川慶久公、德川圀順侯、德川達孝伯、堂新紹爾伯、清浦奎吾子等弔問客の出入多く邸內混雜し居れり尚侯危篤の趣聞し召され兩陛下より病氣御尋ねとして十日葡萄酒一打下賜遊ばされたり（東京特電）

▽略傳　侯は弘化三年江戸に生れ明治元年議定職兼刑法事務局補權中納言に任じ又東下鎭撫を命ぜられ錦旗を賜ふ後麝香間祗候關稅局長參議院議官特命全權公使元老院議官東京府知事文部大臣等に歷任し樞密顧問官貴族院議員たりしなり

●八馬兼介氏逝去

大阪府下西ノ宮の富豪八馬兼介氏は九日夜病死せり行年八十一歲（大阪特電）

●鮮米輸出狀況

大正五年度に於て輸出せる鮮米は大正五年度に於て十一萬一千九百三十一石五斗九升（內籾米一千八百十四石二斗四升）にして大正四年に比し二千二百石の增加を示せるが其仕出地別は

日本　二、三〇〇石　朝鮮　九八、二〇〇石
支那　一〇、九〇〇石

にして朝鮮米は約九割を占めつゝあり元來日本米はこれを洗ふて手數を要する點に於て遙かに鮮米に及ばざるのみならず其輸送關係又遠く鮮米に及ばざるは其輸出商朝鮮米に及ばざる所以にして支那米は全然邦人の嗜好に適せず僅かに一部支那人の需要に應ずるのみ而して朝鮮中其輸出量最も多きは仁川米にして其輸出量は約五割三歩に當りこれに亞ぐべき鎭南浦米約二割四歩其他二割三歩の割合にしてこれを各仕出地別とすれば

	釜山	木浦	群山	仁川	鎭南浦
三年	六七	五、八九七	六、〇〇二	四一、〇三五	一六、三三一
四年	八〇	六、一四四	六、七九一	五六、八二〇	一三、四四九
五年	七〇〇	三、八六六	八、〇八四	五三、二三〇	二四、二〇〇

となり仁川米最も多きは其風味釜山、木浦、群山米に及ばざるものあるも季節に依りて其の風味を變ぜざると運輸上の便宜、運賃の格安及び品質の一定せる等が以上各地米を凌駕する所以にして木浦群山米は其風味の佳良なる點に於て多くの嗜好者を有するも毎年六月以降夏季に入りては遺憾ながら其風味に變化を來し十月新穀の出廻りまでは其需要著しく減少するは其輸入量仁川米に及ばざる重なる原因なりと又鎭南浦米は精白方法仁川に及ばず且つ陸稻其他の混入せるのみならず質概して硬く乾燥充分なるも粘力に乏しくして口觸り宜しからず而も品質の一定せざると運輸上の不便はこれ又仁川米の敵たる能はざる原因なりと

●英佛の砂糖難

糖界の前途豫測　朝鮮精糖重役　岡村左右松氏談

英國並に佛國に於て年間に消費する砂糖の量は約三百五十萬噸にして內

▲百五十萬噸　は獨逸より又百萬噸は墺太利より其の供給を受けゐたるが戰爭開始後其の供給を打ち絕ねたるため兩國の砂糖難は著しきものあり英國は茲に於て約百萬噸の年產を有する瓜哇糖の輸入を開始し其缺陷の幾分を補はんとしたり之れ開戰以來昨年頃迄瓜哇糖の東洋市場供給全くなく日本の砂糖界は好況を來し精糖會社の經營亦頗る調子よかりし原因なり然るに昨年來船腹の跳躍に連れ英國の

▲船腹不足　は瓜哇糖の英國への輸入を不可能ならしめ結局瓜哇糖は東洋市場に供給を再現せしに付糖界の昨今は頗る悶への狀態なるが此の狀勢は平和克復前後まで繼續するものと見るを妥當とすべく戰禍雲散せば世界的に起る砂糖需要の激增に伴ひ糖界の活況を來すべく其頃までには朝鮮甜菜精糖も營業開始するに至るべし尚英佛最近の砂糖難は想像の外にあり全く

▲貴重品　と化し日本などより特に佛國の邦人に砂糖を送荷するも途中にて必らず紛失し其の到着を見る事は全く困難の模樣なり

●對支經濟策決定か

外務省に重要會議開かる

【東京特電】外務省にては十日午前十時より本野外相、幣原次官、小村支那課長、林公使、井上正金銀行頭取等會合し對支經濟政策に關する重要會議を開き協議せり

●元山客月金融

元山に於ける客月中一般金融狀況並に市況につき某銀行の調査左の如し

綿布其他の輸移入品は滯貨大體口の仕入を了し在荷潤澤にして且つ內地相場頭ろ浮腰なれば當業者は一般に形勢觀望の態度に出で仕入手控勝にて入津著しく減退せしも大豆は內地市場の入荷未だ充分ならず而も買氣旺盛なるを以て相當な好調を呈し從て內地輸送近來稀なる殷盛を極め輸移出額前月に比し更に一段の增進を見たり又明太は其商盛期たる舊正月を控へて相場異常に昂騰し殊に輸送遲滯の關係にて生物の如きは月央二十七八圓に低落せしも下旬貨車增給の運びに至りし結果遽に反撥して一時は四十五六圓てふ空前の高値にて取引され月末に至りて三十六七圓を上下せり尚長箭方面に於ては其の鰊漁は頗る稀有の豐漁にして其の著しからず而して從來累積し來りたる是等滯貨も貨車の增配を得て大部分出盡したるもの如く當地滯貨の商況槪ね叙上の如くにして輸移入貨物の方なり諸物資の荷動き於て多少の不振は免かれざりしも輸移出品に對する資金の需要も相應見るべきものあり爲めに金融繁忙裡に越月せり

●貨車配給問題

久保局長談

湖南線に於ける貨車配給は常に不足勝ちなるのみならず輸送距離の遠近に依り厚薄あるやに感じられ短距離に於て殊に不便多しとの不平尠なからざりしに對し久保管理局長は語つて曰く貨車の不足は湖南線のみならず本線に於ても甚しく此の點は營業者として申譯なき次第なれども事實不足せる始末なるを以て如何とも爲す能はず現に龍山工場にては其の製作を急ぎ五十臺以上完成せるも車輛用の鐵棒不足の爲め運轉する能はざる情況に在り然れども不足勝ちながらも之が配給に就ては十分なる注意を拂ひ苟も距離の長短等に依り偏頗の處置なきは勿論夫々要求の數に應じ按分的に配給しつゝあり湖南線のみにても一日三百臺以上の請求ある始末にて悉く其の希望に副ひ得ざるは返す返すも遺憾なれども配給の一點に於ては不公平なきを期しつゝあり

●咸北牛疫發生

咸北道の牛疫は久しく其跡を絕ち居りしが又々發生し國境、鏡城、雄基方面にては一月十六日畜牛の斃死するものあり同地憲兵分隊勤務獸醫檢診の結果牛疫と決定せるが續いて同郡豐谷面に於ても牛疫發生一月末日までに斃死六頭撲殺六頭を出したり而して病毒系統に就ては不明にて目下取調中なるも多分對岸支那領より傳播せるものゝ如く目下當局に於て極力防疫に努め居れり（城津）

●城津鑛業有望

咸北道城津郡の鑛業殊に黑鉛鑛は近來勃興し六年中採掘を爲したるもの十一鑛區其產額四十萬圓に達するの盛況を見たるが以上の外尙採掘未著手のもの十五鑛區あり其他出願中のものも少からざるが城津港の黑鉛鑛業は將來益有望なるべし

□獨軍の集中

西部兵力匹敵す

▲引續き西部旋回　獨逸が一月初旬以來其の國境を封鎖して東部の餘裕兵力に旋回集中しつゝあることは屢々報道したるが其後信ず可き情報に據れば獨軍の大兵輸送は爾來引續き迅速に遂行せられ其結果一月半ばには既に西部の兵力と對等の勢ひを示したる兵力（若干の墺軍を含む）は聯合軍の兵力を凌駕して西部のみならず尙ほ現に繼續して西部に集中を進めつゝありと云へば現在にては却て數箇師團の優勢を持せるものと解せらる

▲既に四十餘師團　十二月下旬の調査に據れば西部聯合軍の總兵力は百九十六箇師團（外に騎兵十四箇師團）同獨軍の兵力は百五十箇師團（外に騎兵三箇師團）にして兩軍の間には尙ほ四十二箇師團の差ありたるも情報の如く果して西部の兵力相匹敵するに至りたりとせば、獨軍は昨年末より今日に亘りて僅に四十餘箇師團の大兵を旋回したる計算なり四十餘箇師團の兵力は實に容易ならざる大兵なれども露軍の中堅を以て目せられたる南露方面の軍隊すら既に其戰線を放棄して顧みず甄蕋は殆ち戰線は除去せられつゝある狀に在りと云へば其事決して不可能に非ざりしなる可く獨軍は今後とも一箇月約十箇師團の割合を以て增援し來る可しと信ぜられつゝあるが故に今月半ばには十箇師團、來月半ばには二十箇師團の優勢を持するに至らん

▲瑞西の中立侵犯　而して獨軍は現に主として所謂ヒンデンブルグ線サンカンタンの以北英軍の正面に集中しつゝあるも英軍素質の優良、同砲の優秀及び同方面塹壕陣地の堅固なる等の點より見て果して獨軍が英軍正面に進發するやは頗る疑問なり即ち獨逸の英軍正面集中は單に一種の牽制作戰に過ぎずして其眞の大攻勢開始の直前に至り其保有せる數十箇師團の大豫備軍を提げて急遽瑞西の中立侵犯を敢行せんとするの作戰なるやも知る可からず現に獨逸が先月二十九日突如として瑞西の國境を封鎖せるが如き其時期より察して或は彼の伯林大罷工の內情暴露を恐れ且つは瑞西より各種陰謀者の侵入するを防止せんとするに在らんかと信ぜられたるも瑞西が之に應じ國境守備軍增援の爲に動員せるの報道あるに徵すれば獨逸の瑞西國境封鎖は同方面への兵力集中を掩はん爲の手段なりしに似り

▲追擊砲等の急造　殊に獨軍が此程來多數の追擊砲を製作しつゝありとの情報あるを以て見れば獨軍が眞面目なる肉迫接戰に備へつゝあるを窺ふに足る可く其他山地用墺軍アルペン兵團增援の事實等併せ稱ふれば獨逸が春季戰の準備全く成るを待つて西部戰中の瑞西方面に最後の輸贏を爭はんとするの意圖を藏せることは最早や疑ひの餘地なきが如し

▲伯林騷擾と作戰　彼の伯林の罷工騷ぎも勞働團本部の與らざりし事實、其勃發の時期の甚だ遲きに失せしと及び既に失敗終熄しつゝありとの報道ある等に鑑みれば與に社會黨及び勞働團の自覺に基きたる徹底的のものなるや否や頗る疑はしく或は獨逸政府の煽動若くは獨逸穩和派が其強硬派の主張を緩和せしめん目的を以て仕組みたる狂言なるやも計られず何れにするも伯林今回の騷擾が獨軍の攻勢作戰を絕對に抑制し得可しとは信ぜられず少くも聯合軍としては本月末若くは三月中を以て最も警戒を要するの時機と爲し夫々各方面の戰備を堅めざる可からずとせらる（東京）

●巨闘百種●

今日は紀元節である酷烈であつた寒氣も最早襲來する模樣もないから動植物園や博物館なども大分賑ふ事だらう今日一日は愉快に祝意を表するのが宜い▲撞球や圍碁なども隨分京城では盛んならしいから今日あたりは大分所々で會合が催されやう▲圍碁と云へば京城にも上流中流を通じて大分妙手が居るとの事だが今日は一つ東京に於ける上流社會の勢力を鳥渡紹介しよう▲元老中では大隈侯が一番強く山縣老公も強いが大隈侯には二三目位置かねばなるまいとの事▲大臣連中では田遞相が素人初段で他に鳥渡並ぶ者の無く外交調査會員では犬養君と牧野子が同力で田遞相よりも強い▲大隈侯と犬養君とは實際は三目位違ふけれど負嫌ひの隈侯は犬養君に先で行くから何時も負ける▲加藤憲政會總裁は一時熱心だつたが中途で投げて了つた▲原政友會總裁は自身ではやらぬが局面は能く判るらしい▲實業界では杉原榮三郎君が犬養君と同力で次は澁澤男と藤山雷太君は恰度宜い碁だ但し杉原君とは四目位違ふ▲其れから華族仲間ではいろ〳〵打手もあるが京極子に並ぶものはなく▲次は德川慶久公で今の慶久公が先でやつて居るか京極子は何時も受太刀である▲とは岩佐六段と本因坊氏の掛値のない批評である

□定例休刊

十一日は紀元節に付き同日發行の夕刊並に翌十二日發行の朝刊は定例休刊す但し重要事件突發の際は號外を以て報道すべし

人事消息

▲松井房治郎氏（元山稅關長）十日夜退京
▲川淵治太郎氏（元山地方法院檢事）同上
▲佐藤森三氏（平北道第二部長）同上

●鎭海短信

▲蠶業講習會　鎭海にては本道より蠶業技手出張去一日より蠶業講習會を開催中なりしが七日終了修業證書授與式を擧行せり▲一月中の貿易額　一月中の鎭海貿易狀況を聞くに移出一萬五千六百七十一圓移入一萬九千九百六十一圓計三萬五千六百三十九圓にして前月に比し移出三萬三千九百卅一圓を減少し移入一萬二千四百四十九圓を增加せりと▲鎭海組合會　鎭海學校組合にては新面制實施の結果組合員會開會の必要を認め去一日議員を召集して熟議する處ありたり▲鎭海紀元節　鎭海にては紀元節の佳辰を卜し練兵場に於て要港部員の大運動會を催す由

●久保博士移轉　總督府醫院の久保醫學博士は八日大和町三丁目六番地に移轉せり

●歐航運賃引上　郵船會社の歐航運賃[illegible]物元高なれども復航貨物の積取頗る困難にして爲めに臨時船の出帆[illegible]にては到底引合はざるを以て[illegible]郵船會社にしては今春の儀の運の如く毎月一回の豫定を決行するを以て値上の斷行[illegible]の運賃に比して五割乃至十割の値上げにして雜貨以外のものは雜貨の申込を爲すとなる可しと（東京）

●[illegible]丸の保險　[illegible]以て『會社の報告のみに依りては[illegible]之を戰時保險により喪失したるものとは認め難し』と通達し來れり[illegible]

▲廣告▼

今回小生儀某實業家の招聘に依り往復約一ケ月の豫定にて東京へ出張致候間此段辱知諸君に謹告仕候也

明治町二丁目　易者　岡村介石

●軍隊拂下品販賣

▲軍隊拂下、外套、毛布、防寒襦袢、手袋、靴下類一切
▲洋服店特製品賃用向に可應候
▲紳士ヘルト帽及被服改造半ズボンスコッチ詰襟折襟洋服長トンビ婦人コート其他新調品特に勉強御相談
▲中古品洋服類一切
新古男女御衣裳多數取揃有之候條件不拘多少御注文奉願上候

諸官衙拂下品和服洋服商　龍山元町二丁目　金子商店　電話長一〇五番　振替京城三八三

朝鮮及滿洲社編纂

最新朝鮮地誌　上編

一冊　豫約價一圓　定價一圓五十錢　送料內地鮮滿洲十二錢

▲本書は本社發行の朝鮮及滿蒙叢書の第一輯として發行せるものなり、上編下編併せて七百頁以上にして、併合後の最も新しき朝鮮地誌にして同時に最も詳しき朝鮮地誌なるべく現在に有ては本書の右に出づるもの無きを斷言して憚らず、但し徒に自家廣告の爲めに誇張するを欲せず公評に待たんとす、下編は來月出版す、本社に直接申込まれても宜しく京城市內各書店にもあり

發行所　朝鮮京城旭町二丁目（朝鮮雜誌社改稱）電話一二五〇番・振替貯金京城三八六番　朝鮮及滿洲社

六版

修養日訓

大町桂月先生監輯　四六版三百八十餘頁　總布裝　函入美本　定價一圓　郵稅拾錢

桂月先生の序に曰く（前略）謹んで世の修養に志ある人々に告ぐ、一時に修養上の知識を貪らむとする勿れ、日々少しづつ自得して實行せよ更に他書を繙く人々に告ぐ、日々其日の條のみを讀め而も、熟讀せよ解らぬなら解する迄熟考せよ昨日以前讀み終りたる所を回顧するも好し、決して翌日以後の條を見るべからず如何に多忙なりとも其日の條を讀まざるべからず、かくて一日又一日、一月又一月一年の後に至りて一年前と比較して見よ必ずや諸君は吳下の舊阿蒙にあらざらむ

發賣元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

披露廣告

石炭界の福音

今回弊炭鑛業務擴張と同時に新たに汽罐汽機を增設し採鑛及運炭の擴張設備完了致候に付左記方面に一手販賣店を置き一層勉強御便宜を旨とし需に應ずべく候間多少に不拘御注文被仰付度此段御披露申上候

咸興炭分析表

水分　一四、〇〇　揮發分　四三、七八　骸炭　三八、二五
灰分　二、七六　硫黃　〇、八一　發熱量　[illegible]

▲咸興炭の特質としては硫黃分少なく且つ粘り氣なく加ふるに灰分少量汽罐用として頗る有利
▲咸興炭は無煙に等敷黑煙を認めず火持好くストーブ溫突炊事用として室內の清潔を保ち最も適用にして且つ便利なり

咸鏡南道咸興郡咸興面　咸興炭鑛鐵道株式會社

目下燃料問題愈々緊切と相成候折柄今回咸興炭鑛鐵道株式會社と契約廉價を以て提供致候間多少共御用命御試用願上候

京城方面一手販賣店　三井物產株式會社京城支店
同　特約店　京城古市町（電話二三五九番）苫米地商店
元山方面一手販賣店　元山旭町　吉田商會
咸興方面一手販賣店　咸興大和町　木本支店

北後露國の擾亂と共に紐育より日本坂西土間四百五十志、上と協議を重ねたる結果今回歐航臨千志とし第六回解約後は其都度
歐に輸送する貨物が全部中絶し、浦塩西土間五百五十志なるに對し時局の運賃引上を遂ぐることゝなれり出航期日並に運賃を協定することゝ
たる結果歐洲航路船は往航には貨して著しく低率にあり、爲めにり即ち積荷の關係上今後は從來、なれり即ち第四回船以後は從來
とは殆んど比較にならざる高率となりしを以て均合上近く命令船も運賃引上を當局に對して申請する
後行衛不明の日本郵船常陸丸は郵船會社より遞信省に對して戰時保險に該當す可きものなる旨を認められたしと申請中なりしが愈々六日附を
保險補償による從て其損失を負擔するの次第なり而して之を普通保險とすれば荷主は
認に反對するとなる可し故に今後は郵船會社並に保險會社は戰時危險による喪失なる旨の立證を審らかにし訴訟を提起し以て

●亂脈な郵便局

攝津池田郵便局は亂脈の極にて現り久原家の證書は和泉書二千圓の貯金を横領せる事記貯金を窃取せる訴す久原文庫を設立する在京大に（大阪時事）

住宅問題

▽純日本式でも寒くは無い

壁を一層厚くして戸障子の設備を完全にせよ

學校組合議員　田中半四郎氏談

衞生的と言ふ樣な見地に立つて言ひますと私は先づ住宅の建築奈何を考慮する前に土地の選定を言ふ事が必要な條件の一つかと思ひます土地の選定とは即ち濕潤な土地を避けて乾燥せる土地を選ぶのです由來病人の出來る乃至は事故の多い住宅は之れを深く研究して見ますと大抵

▽濕氣の多い土地の上に建設

せられた住宅に住んで居る人に多い樣です併し市街と言ふものは必ずしもどんな所にも住宅を建設しなければならない即ち天然的にのみ乾燥せる土地を選定すると言ふ事は到底出來ない註文でありますそこで幾分濕潤せる土地でも人工的に乾燥せしめて衞生的な住宅の敷地となす事が必要でありますそれは土地の排水を良くすれば宜いので溝渠の設備を整へる事に因つて其の土地は自ら乾燥し隨て其所に建設せられたる住宅は衞生上好いのであります、窓を大きくするとか小さくするとか光線の具合を良くするとかと云ふ問題は既にきまり切つた問題で誰しも其の消息は分つて居る所でしよう、日當りが良いと云ふ事は如何なる

▽暖房裝置よりも必要な事で

學校等では之れに因つて十度位の氣溫の相違を發見するのであります又人體と言ふものは日光に浴する事は極めて必要な事で自己の住宅と言ふ物を有せなかつた往時から社會の進運に隨つて現今の居宅を構成するに至つた人類の歷史に徴しても日當りが良いと云ふ事が如何に衞生的であるか推斷するに難からざる所であります何と言つても太陽と言ふ大きな暖房を出來る丈け利用する法を講じなければならない、次に住宅の樣式如何と云ふ問題に就いて私は純日本式を推し度い、日本式家屋は防寒的でないと言ふ誤りもあるかは知れないけれど之は從來日本式の住宅に

▽暖房の設備を施さないから

であります純日本式だとて壁を一層厚くし障子、硝子戸、雨戸等の設備奈何に因つては決して寒い事ではない開けつ放しの建付の惡い家ばかしが純日本式ではありませんそれに日本人は何でも開放的な國民で此の幾千年來形造られた國民性は一朝にして打破する事は出來ない矢張り私等は押詰められた樣な西洋室よりも廣々とした日本間を愛するものであります只一つ日本建に改良を要するのは便所である日本人の性格としてベッドの上で便器を使用すると言ふ樣な事は寧ろ嫌忌する所でありまして其の結果病人等でも努めて便所へ立つのであります而かも便所は開放的で殆んど室だとは思はれないのである朝鮮の樣な寒い所では

▽便所丈けは洋式を採り縱令

水道に因る浚渫設備は無くとも直接屋外の寒風に觸れない樣パイプか何かの設備に因る事が必要であらうと思ふ朝鮮の温突も換氣法をうまくすれば良い孰れにしても暖房設備は必要で朝鮮の老人に脊髓彎曲症の人が少なく日本人に多いのも此所に基因して居るかも知れない朝鮮人は幸ひ温突に依つて四肢を伸ばして休み日本人は暖房の設備を怠つて居るが故に夜間でも縮まつて休む其の結果朝鮮老人が使用する杖は長く、日本人のは短かいと云ふ奇現象を呈したのであります、そう日本式建物にも暖房の設備を施す事は焦眉の急務と言はねばなりません

●東昌丸　遂に沈沒す

地中海にて魚雷の攻撃を受けたる東昌丸は遂に沈沒せる旨十日筒井同船長より田中合資會社へ入電ありたり（大阪特電）

●藥取丸坐礁

臺灣西海岸にて＝船底に大破損

大阪商船藥取丸（三千三百五十七噸）は打狗より歸航の途中臺灣西海岸にて坐礁し船底に大破損を被れり（臺北電報）

●泰山鳴動して兎一匹

◎京城倶樂部員の兎狩

裏南山に集ふ同勢二百＝長谷川總督も見物する＝午前の狩立は全く失敗＝豚汁に腹を拵へて＝意氣揚々の聯隊側

十日の日曜は日本晴れ、近來になく寒さではあつたが兎狩には持つて來いの日和とて裏南山は京城倶樂部員や聯隊の狩立てで泰山鳴動の大景氣、兎に取つては極めて難儀の日であつた、棍棒や

▣**竹杖姿の** 京城倶樂部員が約二百名ばかり龍山屠獸場附近の陸軍射擊場に集合したのは午前十時頃、此時既に聯隊では二手に別れて一手は城壁下から一手は屠獸場上から狩り立て狩り立て勢ひ込んで京城倶樂部の狩場に侵入して來るので先著の幹部は

▣**這一大事** と抗議を申込んでやつと城壁方面に驅逐し時刻を待つ程に、長谷川總督は齋藤大島兩副官神田秘書官を隨へて來場、狩立合圖の喇叭で網係は射擊場の上に網を張り勢子は第一班から第六班までに勢揃ひして各部署に著く、長谷川總督は狩立の狀況を觀んとて

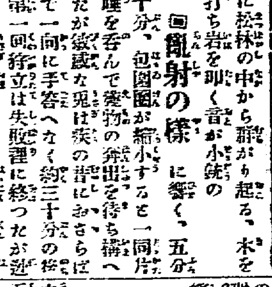
▣**小松の山** を登り展望のよい岩の上に立てば時分は宜しと勢子係司令官の青木庶務課長が狩立開始の令を下す、ワン〳〵ウオーと言ふ咆哮が山を震はすばかりに松林の中から飛鬼が起る、木を打ち岩を叩く音が小銃の

▣**亂射の樣** に響く、五分十分、包圍圈が縮小するを一同片唾を呑んで獲物の奔出を待ち構へたが欲張な兎は疾の昔におさらば一向に手答へなく約三十分の後第一回狩立は失敗裡に終つたが逃げた兎の大きかつた報告は禰の尚を引くやら、一同山を下つて

▣**豚汁に温** い飯で腹を拵らへ午後一時から再び屠獸場上を狩立てる事になると兵庫に接待司令官の萩田局長がやつて來て戰況はどうかねと訊けば、青木課長が『取らう〳〵で徒勞に了りさうだ』と心細い事を言ふ、第二回の狩立では第六班が

▣**一頭を獲** て凱歌を奏して居る處へ網係司令官の釜屋武官がやつて來たので誰かと一網係は「かまやせん」と駄洒落れる第三回狩立はプログラム外とあつて士氣振はず二時半終了と共に一同射擊場に集まつて

▣**祝盃を擧** げ萬歳裡に散會したのは午後三時此時軍隊では五六頭捕獲して引揚げたので二百の同勢顏色なく陳腐乍ら南山鳴動して兎一疋で幕……。



●三十九年振に親子對面

市內南山町一丁目に居住し京城神社の名譽祓員を勤むる廣島縣人城山恭吉（六三）氏は殆んど半身不隨の肋膜炎にて是まで市內數箇所の病院にて治療を受けゐたるも捗々しからざる所より人の勸むるがまゝ京金旅館に滯在中なる鍼灸術師香川延命（三九）といへる人の施術を受けし所不思議な程に効驗が現はれしより香川氏を德とし同氏も暫々城山家を訪づれゐたるが段々出生地抔を互に語合ひし處驚くべし此の香川氏は城山氏の實子なること判明せしにぞ香川氏は其儘京金旅館を引拂ひて旭町の城山氏方に同棲して相變らず鍼灸術を營み實父の老後を養ふ事となりし由なり元來此の城山氏は元藝州侯の家臣の家へ養子として入婿せしも養父の八釜しさに辛抱が出來ず明治十三年前記香川氏の出生せし歲無斷にて家出をなし諸所にて放浪の末明治十六年頃釜山に渡り同二十七年京城に來りて養家とは無論音信不通のまゝ今日に及びたるものにて三十九年振りの對面なりと

●太陽が三個現はれた

「擬日」の奇觀＝何う云ふ原因か

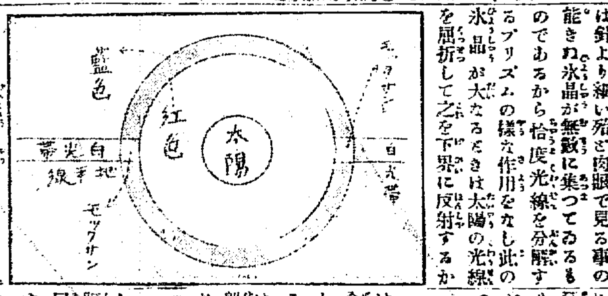
去る七日午後三時過ぎ頃京城の西天に方り南北へかけて『擬日』が現はれた。其れは圖の如きもので今京城測候所の報告概要に據ると、（前略）當日の氣壓配置を見るに、鮮內は高氣壓の圈內に屬し朝來快晴なりしが午後三時過より西天に少許の上層雲浮泛せり、此の雲の顯はれたるは午後四時二十分頃にして太陽を通じ地平線に並行せる白色の光澤を生じ其左右の交點に『モツクサン』（擬日又幻日）を認めたるも太陽附近に在る其一方は不明瞭にして內部は紅色、外部は藍色を呈し、白色光帶は夫れより南方に永く連り居りたるが午後四時五十二分に至りて止みしも全形は同五時五分頃全く消失せり

扨て此の『擬日』といふのは昔の代表によく『天に二個乃至四個以上の日輪現はる』と記されたもので之が

◆**濃厚の場合** は丸く太陽其儘の形を空に現はすのであるが七日京城に現はれたる『擬日』は暈の如く暈の一部が光つて居たのであるから四角な太陽が一は濃く一は薄く二個現はれた譯である。之は何うして現はれるかといふに前記報告中にある通り當日西天に少し許りの『巻層雲』が浮んでゐたとあるから其の原因は『巻層雲』である事が判る、元來

◆**此の上層雲** なるものは針より細い殆ど肉眼で見る事の能きぬ氷晶が無數に集つてゐるものであるから恰度光線を分解するプリズムの樣な作用をなし此の氷晶が大なるときは太陽の光線を屈折して之を下界に反射するからこんな現象が生ずるのである。而して又『白光帶』といふのは朝鮮の

◆**年代記抔に** ある『白虹日を貫く』とか記されて昔は兵亂の前兆だ抔と騷いだものであるが之も究極する所前記の理由で『擬日』の餘影に過ぎぬものであるといふ事を附記して置く。



學校めぐり

▽延禧專門學校

この四月から高陽郡延禧面に新築された校舍に移轉の筈

セブランス醫學專門學校と相並んで私立專門の二大重鎭たる延禧專門學校、故アンダーウッド博士の盡力に依つて大正五年に設立され六年

◆**總督府令に依て** 專門學校として認定された。學校の組織は文科、物理科、商科、農科、神學科、應用化學科の六分科に區けられてすべてがアメリカ式、アンダーウッド博士が死去されてからセブランス病院長エビソン博士が後を繼いで校長となつた。今は鍾路朝鮮中央靑年會の會館を借りて假授業を會してゐるがこの四月よりは高陽郡延禧面に新築された校舍に移る筈である。何しろ設立早々で學生數は左程多くなく今の處六十餘人しかないけれども

◆**今年度は約百名** ばかり新入生を募集するさうだ。そして學校の教師は重にアメリカ人、內地人も二三人居つて過日旭町の火災に橫死された高井文學士もその教師の一人であつた。又朝鮮人の教師も居るが皆アメリカ大學の卒業生で朝鮮に於いてのパリ〳〵。兎に角其の先生も高尚落々と擴張してゆくならば施設も規模も大きいからこの此の校は恐らく朝鮮一とも云はれるだらう。

◆贅澤さ加減に驚く

東都の流行界

最近東京より歸來朝鮮ホテルへ投宿中の某夫人の談に曰く『東都の流行界も戰爭以來大變な變化を致して居ります其の贅澤さ加減には驚いてしまひます當今は京城なども茶色の全盛時代ですが之は主に關西向きが傳つて居ります樣で

●生憂は茶と申しましても黑紫などの遊付いた海好みでムいます模樣も大膽派手になりまして四十一恰好の方でも今迄二十八九位の方の好みが用ひられて居る樣な有樣ですそれに今迄江戶後の紙の前丈けであつた模樣がだん〳〵模樣へかけて出す向きが多くなりました。コートの樣なものも下へペーッと開いた模樣とか

▣**反對に** 下から始まつて上へ開いたものが流行ます一體に關西はコートに金を掛けますが東京は全然著物に金が掛つて居ますやはり昔の江戶趣味でムいましようねそして昔の下町の娘風に合嬢方に繻の半襟などが流行します又一般に下品を襲ねる事はだん〳〵廢れて參ります

●出來…は後を…
●續くして全體に大く…

らまさせますし丸髷も髮を思ひ切り膨らませまして鬢付で型を取つて居ますが見た所大層綺麗でムいます、私共朝鮮から毛皮を持つて行きましたが何だか下品で持つて歩けない樣に思ひましたがどうして東京の近郊毛皮の流行は大したもので三越邊りへ參りましてもネクタイだのマーブだのまあよく

▣**怨歴に** 集めたものだと思はれます然し何と云ひましても今は皆さんが自覺なさつたとでも申しましようか自分の體に配合した服裝をすると云ふ風潮が漸次廣まつて參りましたが又之が宜いだらうと思ひます』

◉萬里小路雪子刀自

從三位萬里小路雪子刀自は十日京都にて病死せり享年八十四（京都特電）

◉岡村介石東京へ上る

明治町二丁目岡村介石氏が突然『東京葉、華族の祈勝』によりて東京へ出張すると廣告を出したので聞いて見ると昨年の夏不景氣した爲で東京から多くの鑑定を三四度も頼んで來た人があつた爲からまあ一通り私の大將が雨と本年一月の…十二日京城大門與東上の途に就くとのこと

◉塚原部長令息の訃

京城覆審法院部長塚原友太郎氏三男久氏病氣の處十日午後零時廿五分死去葬儀は十一日午後三時自宅出棺加町三丁目護國寺に於て執行す可し

坩堝用 黑鉛 高價買入（希望の方見本御送附あれ）
門司グラファイト製煉所
門司市錦町三丁目角

日本ペイント製造合資會社 社名使用差止結審廣告
大正四年九月當會社ト同一名ノ合資會社大阪北區南安治川通一丁目ニ設立サレ爾來塗料界及塗料需用家間ニ幾多ノ錯誤ヲ生ジ爲ニ當會社ハ其商號差止ノ訴訟ヲ提起シテ係爭中ノ處今般大審院ニ於テ當社ノ勝訴ニ決シ日本ペイント製造合資會社ハ社名ノ使用ヲ差止ラレ其登記ノ取消ヲ命ゼラレ候ニ付右關係各位ヘ謹告仕候也
日本ペイント製造株式會社
明治十四年創業
資本金五百萬圓
東京品川、大阪浦江、支那上海
●各種塗料顏料製造 ●積立金壹百萬圓

日本獸醫學校
東京市外目黑
規則書要郵券二錢
三月末日限
生徒募集
飯醫科（高等小學卒業又は中學二年修了者）蹄鐵工科・獸醫科…徵兵猶豫無試驗開業免許一年志願兵及文官任用專門校入學資格

●金庫ポンプの熊平は又洋家具の熊平とも言はれる
京城本町 熊平支店 電話三一五一長二 振替京城二二四番

玄海 滿州盛 釀造元 奉天十間房 奉天酒造合資會社
清酒 米穀販賣
電話六三五番 振替大連一七二六番

日鮮會話精通
朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 普成商業學校講師 西村眞太郎著
袖珍判クロース製美本 七百餘頁 定價金壹圓參拾錢
一、世に朝鮮語の會話に精通せられんとする人々は須らく本書を購求せられよ
一、殊に同氏の前著「朝鮮語會話」を研究せられし人士に取りては必讀の續編たり
一、本書の內容は貧弱ならず、試みに其の一端を示せば
イ、單語の數は實に八千以上なり
ロ、難解の副詞に適譯を附したるもののみにても五百とす
ハ、內鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
ニ、譯方正確にして且つ嶄新
一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渇望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に載せて御愛讀の榮を賜らむことを祈る
發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
小次所 大阪屋號 巖松堂

外科花柳病 內科小兒科 婦人科 宮崎醫院 京城南山町二丁目電話三〇六八番

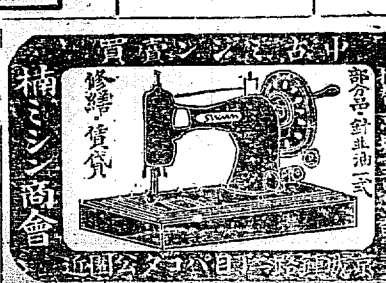
りん病ばい毒 患者諸君 ♡にせドラッグに御注意
近來東京其他各地に於て「ドラッグ」の名稱を詐り醫藥を販賣するもの有之…
詐欺漢なり
（京城南大門外停車場通）花柳病藥劑 ドラッグ商會

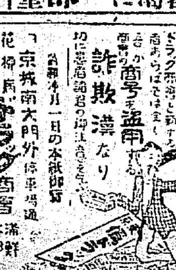
東洋一 新形流行の魁 靴と鞄
内田靴鞄商

精ミシン商會 修繕・賃貸 部分品・針並油一式

時計 金銀製作 販賣 仁川本町 ○○商店

紳士の頭髮を飾る 高等煉香油 二葉ポマード
大阪久寶寺町 化粧品問屋 角倉支店





櫻御殿

第百四十八回　大阪　霞の家主人

殘月（五）

『おゝ、お客様、御病人の御容體は何様でございます』
見ず知らぬ旅の病人に、奥座敷を貸す程と親切な人だけあつて、詞もやさしく心を籠めて問かけた
『どうも快くございませんので、皆が心配して居ります、然し、皆様の御親心で、その内には全快致すでございませう』と桐島はわざと餘所々々しく『つい此の街道脇に小さいお宮がございますが、彼には何さまがお祀りになつてございます』

『麓のお宮でございますか』
『はい、彼の大杉がございます……』
『牛頭天王だとか云ひますが、詳しくは分りません、餘り恐しいので參詣致す者も誠に稀でございます』
『何うして其樣に恐しいのでございませう』
桐島は慄としながら
『何樣願ひでもよくお聽きにはなりますが、一つ違ふと、すぐ祟罰が來るんですよ、あの神樣の御祟を受けて、不具者になつた者も、夫婦別れをした人も五六人ございます』
『まあ、何うも』
『それに不思議な物がお好きでございましてね』
『では何をお供へ致したら、御神意に協ふでございませう』
『女の黒髪なんですよ』

『へゝ』
『まあ、物の試にお宮へ行つて御覧なさいまし、髪の毛が何樣に散亂つて居りませう、其處に物凄い程ですよ』
『不思議な神樣でございますね、すると黒髪を供へさへすれば、願ひはお聽き下さるのでございますか』
『誠に顯著で居らつしやいます、髪の毛を供へて、一心に願を籠めたら、何樣事でもお聽き下さらない事はございません』
『それでも人身御供をさし上げると思へば、大した事もやございませんわね』
『左樣でございますとも』
『話の種に、わたくしも一度參詣をして參りませう』
『隔うなさいまし〳〵、外國には白髪明神とか仰るのがあるさうでございますが、黒髪明神は少いだらうと存じます』と内儀は口を抑へて笑つた
黒髪！黒髪！この黒髪を根元から絶ち切つて思ふ人の病氣平癒を祈らば、一心の誠に出つて、本復は知れてある、命までを献らせようと覺悟した程であるから、黒髪を拳らせる位は何んでもなけれど、さなきだに醜い姿が、黒髪を切つた爲め、一段と醜くなつて、愛想を盡かされた上に、また愛想を盡かされるやうな事はないか、もしそんなだと、寧そ命を捨てた方が後に殘る心が無くて、何樣に幸福かも知れぬ、と種々に思ひ惱みながら、爪頭上りに山路を上て行く
昨夕は眞夜中に來たので、よく見ることが爲きなかつたが、今見ると、祠の前に黒髪が堆く積まれてある、長の月日の間には結んだ元結が朽ち腐れて、四方に散亂した髪の毛が、さながら藻の草のやうに亂れて居る、桐島は深い覺悟をした間にも、それを見て慄とした
『眞に夥しい髪の毛ぢや、この髪の毛の一筋ごとに、種々の願が籠められて居るであらう、命を御納受遊ばさずば、女の身には第一の寶といふ黒髪を献らせて大願成就をお祈り申さう、後々それが何の樣な嘆きに爲らうとも、悔む處は一もない』
桐島は決心して蕭颯たる秋風の前に立つた

日獨戰記念館

四五月頃竣成

侍從武官府に保管中なる陸海軍兩省より献上の日獨戰役戰利品（大砲、小銃、劍、魚形水雷等）並に名譽の戰死を遂げたる我が將卒の被服寫眞其他を永へに納むべき日獨戰役記念館は先年來中村内匠寮技師監督の下に懐遠府に隣接せる約百二十坪の地に工事中の處既に大體の工事を終へ目下内部及び屋根の工事中なれば來四五月頃迄には全部竣成の筈にて該建物は永久的堅牢を旨とする平家にて小武器被服等を陳列すべき板敷及大砲魚雷等を据付くべき石敷との二棟に分れ豫算は約十二三萬圓なるが竣工の曉には日清戰役の戰利品陳列の振天府北清事變の懐遠府日露戰役の建安府と同樣 聖旨に依りて名稱を附せられ府名は多分皇族方御染筆相成るべしと（東京）

報俳壇

■酒幕吟社詠草（新稿）

足袋

庭の樹に足袋干してある山家哉　紅子
朝汽車に足袋の冷さ探り見る　花翁
潤越して足袋穿きたる茶店哉　伊城奇人
塀の釘足袋干す程の日向哉　同
河口や足袋干して居る舟の屋根　一宗
足袋の埃拂ふて門を潜り晃　樂清
草堂に足袋を穿せぬ掟哉　昧川
凍りつて足袋の離れぬ鹽哉　同
朝鮮の足袋を歸國の土産哉　香仙
看庭の足袋に光る鮮かな　竹風
干足袋に藁塵したる鷄哉　同

佳句（入選）

石を抱きて深く眠れる氷哉　昧川
汽車の灯道の裏戸の氷哉　二見
氷る江の土手に据わる渡船哉　香仙
氷上の苴人に照る朝日哉　逸明
氷塊を押し寄す湖の嵐哉　竹風
碎氷船の帆柱掠む星斗哉　素草
氷湖行く驛馬脚長入日哉　同

■蕉風會詠草　餘寒・傀儡師

傀儡師佇める門の暮色哉　才涯
新兵の餘寒を語る廊下哉　溪舟
裸樹に月白う照る餘寒哉　十八公
淋きもの芽麥のみなる餘寒哉　箕山
傀儡師の業さめし袴かな　京廼家
傀儡師の都語りす爐邊哉　考古
傀儡師の眞顔みたる辻の逢　鈴月

新刊紹介（到着順）

▲青年雄辯（二月號）婦人より青年諸君に（女流五名家）新聞記者となりたい（五記者の談）其他大家の論説[illegible]
▲模範中學講義錄（東京神田三崎町大日本模範中學會發行）[illegible]

讀者の領分

▲京城北米倉町百四十番地邊に聞くも耻しい男女沙汰がある、心ある人が眞面目に忠告してやれば改心せぬ事もあるまいと思ふ（娘と父親）▲仁川△△病院の奥さんとある人が京城まで行つてしかも三越呉服店の前で燒芋の丸噛りは見苦しいやうですね（岡八日生）▲私の宅では息子の俸給自餘圓を全部渡して家計全部をまだ學校を出てから五六年にしかならぬ若い嫁に任してありますが却々ウマク切廻して月々十分の貯金をして參ります世の中には御主人が自分で月給を握つてゐて生活費だけ渡してゐるでの所もあるやうですがこれは矢張り主婦たるべき人に一切任したはうがいゝやうに思はれます第一に責任を感じますから（道子）▲世の公職に從事するもので郵遞夫の如き所勞過大なるに反比し所得些少なる者は復とあるまいもとより何も具體的の調査を遂げた譯でなければ斷言は出來ぬが次の事實に徵しても首肯されるだらう郵便事務の繁忙を極めた當時中遞夫が生活難からいゝ口を見つけて辭職を願ひ出るものが少なくなかつたにひきかへ脚夫志願者數の遥かに募集定員に充たざりしより推考しても該職のいかに苛酷なるかと洞察せられる脚夫終年の出精にむくひ彼等をして生計上の安泰を期せしむる何等方法手段はなきか吾人はかの氣の毒なる郵遞夫輩のため當路者の周到なる高見を促し併せて府下幾萬の市民諸氏の賢慮を煩らはしたいと思ふ（松尾秋一）

新築落成
京城明治町一丁目
入院隨意　胃腸病院
電話一六五九番
院主　佐々木杏造

獨艇活動鈍る

[illegible]ありと英國海軍大臣は語れる由電報に見えたるが果然當局の談に據れば[illegible]分遣隊を振ふ能はざるに至りたる[illegible]は想像に難からず[illegible]國よりは[illegible]ざる可く從來は[illegible]運送船をしつゝありしが戰爭開始以來[illegible]襲ひしが近來は夜間殊に午前一時[illegible]と專門的に潜艇を建造しつゝあ[illegible]

[illegible]益々暴騰

[illegible]日に於ける貿易出來高約十餘萬袋[illegible]き暴騰を出現せしものなる可しと[illegible]

▲暴騰と當局　右の如き粉[illegible]重に取締る可し又國民生活上必需品の暴騰度なきに於ては輸出の制限其他に依りて之を調節す[illegible]